

多彩な暮らし、叶えるまち。ー 田園都市しおじり ー

広陵中学校区版

地域と学校とが協働して取り組む
塩尻市 コミュニティ・スクール
2025年度 実践集

2025年度 塩尻市コミュニティ・スクール実践集のテーマ

10年間の成果を感じ、10年先を見据える

～これまで積み上げたものを次の時代につなげよう～

熟議

協働

マネジメント



[絵] 広丘小3年
高橋 璃菜 さん
「みんなで育てた
おいしいぶどう」



塩尻市 HP



塩尻市教育委員会

○巻頭言 塩尻市コミュニティ・スクール10年 そして ……1

塩尻市 教育長 佐倉 俊

■ **塩尻中学校区版 10年の取組**

- *塩尻東小…………… 2~23
- *塩尻西小……………24~45
- *塩尻中……………46~67

塩尻市CS&公民館フェスタ



■ **広陵中学校区版 10年の取組**

- *桔梗小…………… 2~23
- *広丘小……………24~45
- *広陵中……………46~67



■ **丘中学校区版 10年の取組**

- *片丘小…………… 2~23
- *吉田小……………24~45
- *丘中……………46~67



■ **塩尻西部中学校区版 10年の取組**

- *宗賀小…………… 2~23
- *洗馬小……………24~45
- *塩尻西部中……………46~67

■ **楢川小中学校・両小野学園版 10年の取組**

- *楢川小中(義務教育学校)…………… 2~51 (含特別寄稿)
- *両小野学園(小野保育園・北小野保育園・両小野小・両小野中)
……………52~97 (含特別寄稿)

● <特別寄稿>「コミュニティ・スクール10年を振り返る」 ……68~69

● 参考「地域と学校とで協働して育てたい子どもの姿」 ……70~72 (98~100)

*平成29年度第1~2回学校運営協議会におけるGW(カレカレ)を通して共有したもの

◆ 「塩尻市教育委員会の窓から」 ……73~74 (101~102)

塩尻市コミュニティ・スクール10年 そして

平成28年4月、塩尻市内のすべての小・中学校に学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクールとしての活動がスタートしました。そのコミュニティ・スクールは、今年度10年目（両小野学園は11年目）という節目の年を迎えました。これまでの各校のコミュニティ・スクール活動の推進に、ご理解ご協力を賜りました、すべての皆様に感謝を申し上げます。

この取組みは、「一人ひとりの育ちに、ていねいに向き合う教育」を理念とした塩尻市教育振興基本計画において、育てたい人間像として定めた、「社会を生き抜く力を備えたひと、郷土を知り、誇りと愛着をもったひと」の育成に、コミュニティ・スクールというツールが最も有効であると考えたことから始まりました。この10年間を振り返ると、子どもたちに社会を生き抜く力や郷土に対する誇りと愛着を育もうと、地域と学校が力を合わせ一生懸命取り組み、多くの「こと」や「もの」を創り上げてきました。その結果、その学校らしい、またその地域らしい特色ある活動が創り出され、徐々にステップ・アップし、10年たった今では伝統となりつつある「こと」や「もの」もあります。そして、一番の成果として、子どもたちを中心として、地域の多くの「ひと」がつながりました。

一方、軌道に乗り出したコミュニティ・スクール活動でしたが、令和元年度末からの約3年間は、コロナ禍により、創り上げてきた多くの活動が制限を受け、足踏みをしました。各校が分散登校やオンライン授業、学級・学年閉鎖という出口の見えないトンネルの入口に立たされた中でも、各コミュニティ・スクールは、校内の消毒、オンラインでの活動や感染対策を万全にした上での活動などに創意工夫して取り組んできました。令和2年度の実践集のテーマは「アンダー コロナ禍 未来につながる大きなチャレンジ！」です。この困難な状況に対しても、地域と学校が力を合わせ、前を向いて乗り越えてきたチャレンジが、今につながっています。

コロナ禍を経験した私たちは、子どもたちの豊かな成長には、子どもたちが多様な「ひと・こと・もの」と出会い、交流するなどの体験活動が欠かせないこと、また、よりよい地域づくりには、学校を核として「ひと」がつながり、「こと」や「もの」を創造していく営みが欠かせないことを実感しています。この実感をもとに取り組んできました、ここ数年のコミュニティ・スクール活動は、コロナ禍前に戻るだけではなく、さらに充実、進化を遂げています。そのような他校の実践に学びつつ、これからの10年を見据えて、自校の実践の取組みを広げたり質を高めたりするために、本実践集をご活用いただければ幸いです。

塩尻市教育長 佐倉 俊

のびしろステージ

地域のみなさんもいっしょに



みんなに見てほしいな！
自分からすすんで

チャレンジクラブ

講師や友との関わりを通して
興味・関心を広げる



地域の行事とコラボ♪
すてきなランタンをつくりたい！

志学館高校との交流

高校生の栽培技術に学ぶ



大きく育ったね！
高校生と一緒に大根を収穫

日々の教育活動の充実



初めての裁縫の授業も安心



楽しみな朝の読み聞かせ

めだか池復活大作戦

願いにむけて
友と共に 大人と共に



「この池で、メダカが泳ぐところを見たい！」
子どもたちと大人たちの願いが現実に

学びを支える環境整備



PTAと樹木の剪定



児童玄関に正月飾り



こいのぼりと1年生

10年という大きな節目。これまで「地域とともにある学校」を目指し、共に歩んでくださった皆様に深く感謝申し上げます。

大きな行事の成功を目指して共に作り上げ、成功を喜び合う充実感と共に、私たちが何より大切にしたいのは、日常の中で多くの大人が気軽に学校を訪れ、子どもたちと関わってくださることです。大人が生き生きと活動する姿を見せることこそが、子どもたちにとって何よりの学びとなります。活動を「負担」ではなく、大人自身が「楽しむ」こと。その前向きな姿に、私たち教職員も多くの元気をいただいています。

今後も、様々な方法でつながりを広げつつ、楽しみながら「できること」を積み重ね、11年目からの活動がさらに充実したものになるよう、引き続きよろしく願いいたします。

育みたい資質・能力〈領域〉

自律性を育む

他者（もの・こと・人）との関係の中で、よりよさを追究し、自分で行動する力。

コミュニケーション力を育む

自分と相手とのやりとりを続ける中で自己理解・他者理解をする力。

創造力を育む

自分にとって初めてのものと価値を創り出す力。

論理的思考力を育む

知識や情報を生かしながら、対象がもつ文脈や構造を明らかにする力。

探究力を育む

物事の本質を探っていく力。

内省的思考を育む

自分の考えや行動を振り返り、これからの自分のあり方を考える力。

学校・子ども・地域・家庭での取り組み

【学校教育目標】 心豊かでたくましい子ども

- 〈知〉 ねばりつよく求める子
- 〈体〉 体をきたえ よく働く子
- 〈徳〉 素直で、思いやりのある子
- 〈善〉 正しく判断し 人のためにつくす子

重点目標
「自分からすすんで」
自分で考えて 決めて 動く ききょうの子



地域に関わる活動(生活科・総合的な学習の時間を通して)

地域防災

キッズお仕事チャレンジ

連携・協働するコミュニティ・スクール

- 校区の地域施設
- 中央スポーツ公園
 - 新体育館
 - 日の出保育園
 - 高出保育園
 - 塩尻児童館
 - 広陵中学校
 - 塩尻志学館高校
 - 東京都市大塩尻
 - 地区公民館
 - 市民タイムス
 - 信濃毎日新聞
 - 地域の食堂
 - レストラン

学校運営協議会・地域教育協議会(学校支援ボランティア)・PTA組織

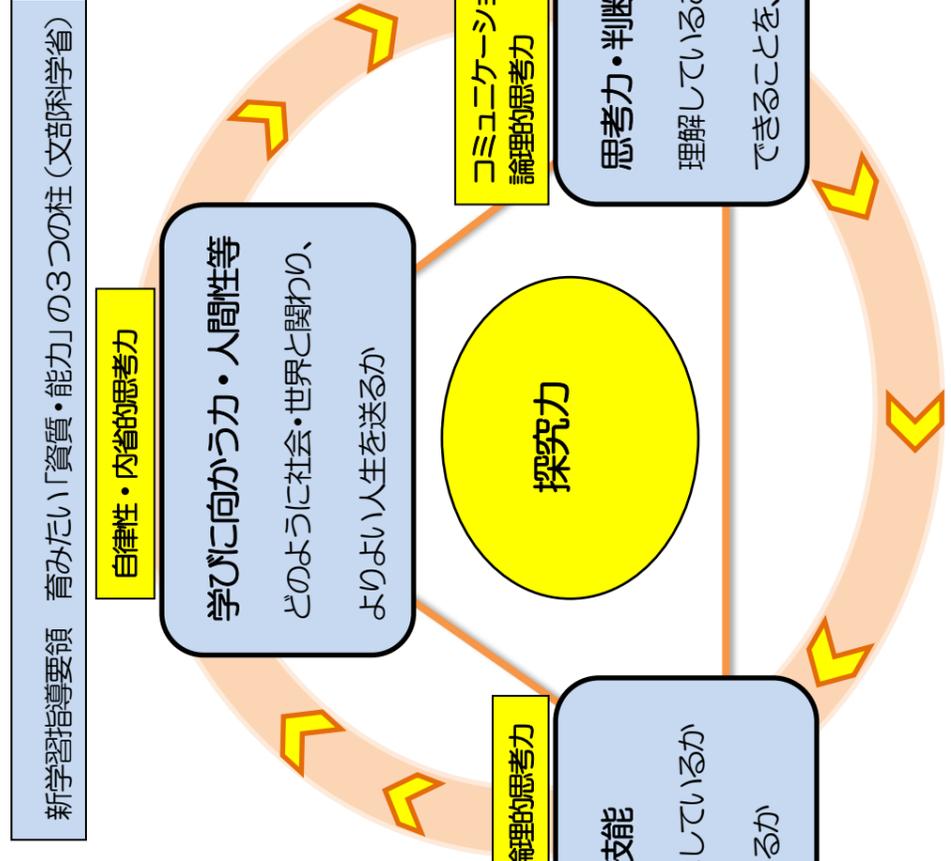
寺子屋行事としての「キッズお仕事チャレンジ」を中心に、地域に関する様々な学習や活動につなげ、自分たちが描く「より良い地域」にするために何をすればよいかを考える(キャリアパスポートにつなぐ)



キャリアパスポートとは

キャリアパスポート（キャリアノート）は、子ども達が小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる活動について記入し、記録を保管するポートフォリオです。

書き方や使い方は各学校に任せられているのでオリジナル教材に近い形になるのではないのでしょうか。このキャリアパスポートの特徴は小学校で終わらないことです。小学校から高等学校まで継続して使うことで振り返りと将来の見通し二つまりはキャリア形成につなげていく。



■ ボランティア活動予定表

一緒に活動いただける方を募集しています。
桔梗小学校(52-3977)までご連絡を。

各支援部の垣根をこえ、できる時に・できる事を・つなげ・つなげ・続けていく活動に

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校運営協議会 地域教育協議会	学運協① 地教協① ボランティア 紹介式		学運協② (校区合同)					学運協③		学運協④ 地教協② コミスクフェスタ (感謝の会)		
学習・部活動	算数指導(時+分度 器)	社会見学付添 (体カテスト補助)	(鉄棒指導) 手縫い ミシン指導 チャレンジクラブ補助 相撲指導② (陸上技能指導)	書写指導 速読指導 相撲指導②	書写指導 速読指導 相撲指導②	書写指導 速読指導 相撲指導②	スケート教室靴 紐縛り カチ聞き取り	書写指導	(版画指導) (理科実験補助) 音の遊び	調理補助		
キャリア教育		栽培 野菜づくり	キッズお仕事 チャレンジ	地区祭り								
特別支援教育	野菜栽培						野菜販売					
読書活動	図書館作業		読み聞かせ① あはなし会①	読み聞かせ②				読み聞かせ③ おはなし会②		制作販売 読み聞かせ④ 図書館整備		
安心安全	登下校見守り 1年下校見守り 交通安全教室補助		通学路安全点検 フェール監視補助					(交番署長講話) 雪かき				
施設環境			PTA作業①	PTA作業②				雪かき				
広報デザイン	ホームページ・ SNS更新	キッズお仕事	チャレンジ	ききょうっ子通 信								ききょうっ子 通信

本年度も地域・保護者の皆様と共に、地域学校協働活動（コミュニティ・スクール活動）を進めてまいります。全体活動が可能なお願いについては、ボランティア皆様へ呼びかけ・お願いをさせていただきますが、今まで同様、できるときに・できる人が・できること楽しく協働・参加できる活動にしていきたいと思っております。

桔梗小学校コミュニティ・スクール

令和6年度 桔梗小学校CS活動

学習・体験の充実

- キッズお仕事チャレンジ：一人3つの仕事について学ぶ
- チャレンジクラブ(4・5・6年)：地域講師に学ぶ
- 塩尻志学館高校との交流(3年)：高校生と畑で野菜の栽培・収穫体験
- 読書ボランティア：読み聞かせ活動、受入れ本の整備など
- 学習支援：家庭科(裁縫)学習の補助、国語・算数学習の補助、ぶどう園見学補助、課外クラブ(すもう、吹奏楽)支援、こいのぼり設置、七夕用の竹準備、音楽会用オーナメントの設置、クリスマスツリー・正月飾りの設置など

安心・安全の確保

- 通学路見守り活動
- 水泳学習の見守り活動
- 各学年の校外学習の引率補助
- 2年スケート教室での紐しばり支援

教育環境の維持・向上

- 樹木の剪定、高枝・枯れ枝の除去
- ミシンの整備、CSルームの整備



<合同学校運営協議会(合同CS研修会)>
学区の地図を見て地域の魅力、危険箇所等を共有

キッズお仕事チャレンジ 働く大人へのあこがれを持つ

2024 児童会主催 10月1日

2024 児童会主催 キッズお仕事チャレンジ

子どもたちが地域の大人から仕事の魅力を楽しく学ぶ機会

2024年 11/16(土)
9:20-11:30(1講座30分×3講座)
桔梗小学校 各教室
地域のみなさん(※予約は必要です)

今年も「キッズお仕事チャレンジ」を開催です。様々な講師の方をお招きして働くことの楽しさや大変さなど新しい発見をしてもらえます。

行かぬ色のコースを囲んでね!

<1・2・3年生>			
赤 コース	さんくのほかせ キッズ資料入学 児童自立支援センター 児童自立支援センター	はいたつのごと 株式会社 アムズワイズ はなまる印刷株式会社 はなまる印刷株式会社	ジェラートやさん 農家のジェラート工房 おまわりさん おまわりさん
白 コース	どしゃんしよさん 児童自立支援センター 児童自立支援センター	ファイナンシャルプランナー 株式会社 日本FP協会 株式会社 日本FP協会	おまわりさん おまわりさん
青 コース	アビやうじさん アビやうじさん アビやうじさん	ひまわりさん 児童自立支援センター 児童自立支援センター	てんやさん 株式会社 小澤電機 株式会社 小澤電機
<4・5・6年生>			
黄 コース	お花屋さん お花屋さん お花屋さん	福祉の仕事★ 福祉の仕事★ 福祉の仕事★	生活に必要な建設業 建設業 建設業
緑 コース	市長さん 市長さん 市長さん	銀行員さん 銀行員さん 銀行員さん	菓子職人さん 菓子職人さん 菓子職人さん
紫 コース	消防士さん 消防士さん 消防士さん	たろみさん たろみさん たろみさん	新聞屋さん 新聞屋さん 新聞屋さん

申込締め切り日 10月1日(金)

主催：桔梗小学校コミュニティ・スクール「キッズお仕事チャレンジ」実行委員会



配達の仕事ってこんな工夫をしているんだね！
自分でもこんなに素敵に作れるんだ♪

11/16(土)に一人3つのお仕事について、講師方の話を聞いたり、実際にお仕事の体験をしたりしました。普段はなかなか知ることができないお仕事の世界に触れることで、働くことについて考える時間になりました。

のびしろステージ

地域のみなさんもいっしょに



有志のステージ
友といっしょに自分からすすんで

チャレンジクラブ

講師や友との関わりを通して
興味・関心を広げる



ペーパークラフト
みんなに見てもらいたい!

志学館高校との交流

高校生の栽培技術に学ぶ



高校生とトウモロコシを収穫

日々の教育活動の充実のために



初めての書写の授業も安心



楽しい朝の読み聞かせ



見守りのおかげで安心して地域探検に

環境整備活動



PTAといっしょに樹木の剪定



児童玄関に正月飾り



打ち合わせや行事の準備に活用



集った仲間が共に、楽しみながらできることをひとつずつ積み重ねて、学校の教育活動を充実させることができました。毎年、その年らしさを大切に内容や方法を少しずつ変化させながら、活動が継続・充実しています。ボランティアの募集や参加申込を公式LINEを使っていることは様々な活動に気軽に参加していただくきっかけにもなりました。また、学校が気づいていないことを教えていただいたり、支援していただいたりしたことも多くあり、大変ありがたかったです。何よりも、明るく前向きに楽しんでいるボランティアの皆さんの姿に、元気をたくさんいただきました。来年度も、楽しみながらできることをひとつずつ積み重ね、新しい仲間やアイデアも加えながら進んでいけますよう、引き続きよろしくお願いたします。

桔梗小学校コミュニティ・スクール

令和5年度 桔梗小学校CS活動

学習・体験の充実

- キッズお仕事チャレンジ：一人3つの仕事について学ぶ
- チャレンジクラブ(4・5・6年)：地域講師に学ぶ、ユメックスアリーナも利用
- 塩尻志学館高校との交流(3年)：高校生と畑で野菜の収穫等の体験
- 読書ボランティア：読み聞かせ活動、本の消毒、受入れ本の整備
- 学習支援：家庭科(裁縫)学習の補助、算数学習の補助、ぶどう園見学補助、
課外クラブ(すもう、吹奏楽)支援、こいのぼり設置、七夕用の竹準備、クリスマスツリー・正月飾りの設置など

安心・安全の確保

- 通学路見守り活動
- 水泳学習の見守り活動
- 1・2年校外学習の引率補助
- 2年スケート教室での紐しばり支援
- 教育環境の維持・向上
- 樹木の剪定 高枝、枯れ枝の除去
- ミシンの整備、CSルームの整備



学校運営協議会・研修会

学区の地図を見て地域の魅力、危険箇所等を共有

キッズお仕事チャレンジ 働く大人へのあこがれを持つ

2023 桔梗小学校 令和5年度 児童

子どもたちが地域の大人から仕事の魅力を楽しく学ぶ講座

キッズお仕事チャレンジ

2023年 10/28(土)

10:20-11:30(講座 30分×3講座)

1. 桔梗小学校 各教室

2. 地域のみなさん(講師は協議会の予定です)

4年ぶりに参加の「キッズお仕事チャレンジ」の開催です。ステキな講師の方をお迎えして働くことの楽しさや大変さなど楽しい発見をしていませんか？

好きな色のコースを選んでね！

<1・2・3年生>			
赤 コース	ごぶくやさん きもの店ジュウリーいちご きもの作りやってみよう！ お土産にもお贈りしてみよう！	けいさつつかん 塩尻警察署 私たちの仕事やってみよう！ おはつりさんの顔も覚えておきなよ！	はくぶつかんのしごと 消防士 消防士になるには？ 消防士の仕事やってみよう！ 消防士の仕事やってみよう！
白 コース	びょうしさん★ ヘアサロン ヘブン 美容師になるには？ 美容師の仕事やってみよう！ 美容師の仕事やってみよう！	はいたつしごと アルプスウェイ アルプスウェイの受付 アルプスウェイの受付 アルプスウェイの受付	カメラやさん★ カメラのオタク カメラのオタク カメラのオタク カメラのオタク
青 コース	えいようしさん★ 塩尻市職員 管理課長 塩尻市職員 管理課長 塩尻市職員 管理課長	しょうぼうしさん 松平広域消防局 松平広域消防局 松平広域消防局	水こりさん★ 水山産産 水山産産 水山産産 水山産産
<4・5・6年生>			
黄 コース	ジュラート屋さん 舞台からめい小隊 ジュラート屋さん ジュラート屋さん ジュラート屋さん	首長 塩尻市長 塩尻市長 塩尻市長	自衛隊 松本駐屯地 自衛隊 自衛隊 自衛隊
緑 コース	知見子織人 新築工事 一級造 新築工事 一級造 新築工事 一級造	塩尻市長 塩尻市長 塩尻市長	図書館司書 塩尻市立図書館 塩尻市立図書館 塩尻市立図書館
紫 コース	たご餅屋さん 焼き立てのたご餅 焼き立てのたご餅 焼き立てのたご餅	塩尻市長 塩尻市長 塩尻市長	図書館司書 塩尻市立図書館 塩尻市立図書館 塩尻市立図書館

子ども特選品も販売します！(6年生のみ)

「キッズお仕事チャレンジ」を取材する形で子ども達の立場から見て感じてもらえませんか？
お仕事体験するものもいろいろと、裏側から見て感じてレポートしてみませんか？

主催：桔梗小学校コミュニティ・スクール「キッズお仕事チャレンジ」実行委員会



消防服とヘルメットをつけて



美容師の仕事について学ぶ



和菓子の作り方を実演

10/28(土)に一人3つのお仕事について、講師の方の話を聞いたり、体験をしたりしました。普段は知ることができない世界を知り、働くことについて考える時間になりました。

チャレンジクラブ

講師や友との関わりを通して興味・関心を広げる



和太鼓クラブ 気持ちをそろえて



古代の道具体験 火起こしに挑戦

志学館高校との交流

高校生の栽培技術に学ぶ



高校生と一っしょに大根を収穫

日々の教育活動の充実のために



朝の時間に本の読み聞かせ



ぶどう園の見学



交通安全教室

環境整備活動



PTA といっしょに樹木の剪定



児童玄関に正月飾り

CS ルーム活用



打ち合わせや行事の準備に活用

今できることをひとつずつ積み重ね、学校の教育活動を充実させることができました。毎年、内容ややり方を少しずつ変化させながら、活動が継続・充実していること、ボランティアの皆様のアイデアに助けられました。ボランティアの募集や参加報告を公式LINEを使って行うようになったことも効率化につながりました。また、学校側が気づいていないことについて、教えていただいたり、支援していただいたりしたことも多くあり、ありがたかったです。何よりも、明るく前向きなボランティアの皆様の姿に、元気をいただきました。来年度も「今できることをひとつずつ」積み重ね、新しい仲間やアイデアも加えながら、進化していきたいと思えます。引き続きご支援をお願いいたします。

桔梗小学校コミュニティ・スクール

～今できることをひとつずつ～

令和4年度 桔梗小学校CS活動

学習・体験の充実

キッズお仕事チャレンジ：「キッズ防災チャレンジ」として実施
 チャレンジクラブ：地域講師に学ぶ、ユメックスアリーナを利用
 塩尻志学館高校との交流：高校生と畑で野菜の定植・収穫等の体験
 家庭科（裁縫）での学習支援
 こいのぼり設置、七夕用の竹の準備、玄関に正月飾りの設置
 読書ボランティア 読み聞かせ活動、本の消毒、受入れ本の整備

安心・安全の確保

通学路見守り活動
 水泳学習の見守り活動
 1・2年校外学習の引率補助
 2年スケート教室での紐しぼり支援

教育環境の維持・向上

樹木の剪定：高枝、枯れ枝の除去
 ミシンの整備、CSルームの整備



広陵・広丘・桔梗 3校合同学校運営協議会
 学区の地図を見て地域の魅力、危険箇所等を共有

キッズお仕事チャレンジ→今年は「キッズ防災チャレンジ」



地震体験車に乗って、揺れを体感



体育館でパーテーション設置体験



ウォークラリー キーワードをカードに
 書きながら、まわりました。

10/29(土)に「防災」をテーマとして、地震体験車、災害が発生したときに使う様々な道具を体験しました。救助のための道具、避難所で使うための道具などに触れ、防災について考える機会となりました。1月には、当日参加できなかった児童のために、校内に当日の様子等を掲示し、休み時間にウォークラリーができるようにしました。

チャレンジクラブ



エプソンドIRECTの協力でプロジェクトマッピングを体験



ユメックスアリーナでスポーツを楽しむ

志学館高校と交流



高校生と一緒に野菜を収穫

日々の教育活動の充実のために



朝の時間に本の読み聞かせ



スケート教室 スケート靴の紐しばり



家庭科 ミシンの使い方を支援

環境整備活動



PTAと一緒に樹木の剪定



こいのぼりを設置

CS ルームを整備



CS ルームで学校運営協議会を開催

新型コロナウイルス感染予防を意識しての生活が続く中で、今できることをひとつずつ積み重ねていただいたことで、学校の教育活動を充実させることができました。学校側が気づいていないことを、教えていただいたり、支援していただいたりしたことも多くあり、ありがたかったです。何よりも、明るく前向きなボランティアの皆様の姿に、元気をいただきました。

来年度も「今できることをひとつずつ」積み重ねていきたいと思っております。引き続きご支援をお願いいたします。

桔梗小学校コミュニティ・スクール

～今できることをひとつずつ～

令和3年度 桔梗小学校CS活動

学習・体験の充実

キッズお仕事チャレンジ 地域の企業・施設をウォークラリーで見学
 チャレンジクラブ 地域講師に学ぶ
 塩尻志学館高校との交流 高校生と畑で野菜の定植・収穫等の体験
 こいのぼり設置、七夕用の竹、クリスマスツリーの設置と装飾
 読書ボランティア 読書旬間・月間に読み聞かせ

安心・安全の確保

通学路見守り活動
 交通安全教室での補助
 水泳学習の見守り活動
 2年生活科見学の引率補助

教育環境の維持・向上

樹木の剪定 高枝、枯れ枝の除去
 放課後に廊下等の消毒作業
 本の消毒



キッズお仕事チャレンジ→今年は「キッズお仕事ラリー」



今年は、地域の企業・施設をウォークラリーで回りました。4コースを設定し、子どもたちは、ボランティアの方々や学校職員と一緒に、半日、地域探検をすることができました。自分たちの住んでいる地域に、いろいろなお仕事をしている人々がいることを知ることができました。

チャレンジクラブ



クリスマスツリーを作る



志学館高校と交流



交通安全教室



樹木剪定



コロナウイルスを意識しての生活が続く中、今できることをひとつずつ積み重ねていただいたことで、学校活動を充実させることができました。皆さまのアイデアで、例年の活動を見返し、今できる形に進化させて、活動を進めることができたこと、とてもありがたいと思います。何よりも、明るく前向きなボランティアの皆様の姿に、元気をいただきました。

来年度も「今できることをひとつずつ」積み重ねていきたいと思ひます。引き続きご支援をお願いいたします。

桔梗小学校コミュニティ・スクール ～コロナ禍でもできること～

令和2年度の桔梗小学校のCS活動

- キッズお仕事チャレンジ：校内スタンプラリー & 新体育館建設
- 読書ボランティア：年1回に縮小
- 庭木の剪定：ボランティアのみで実施2回
- 教室等消毒作業：ボランティア・民生委員・公民館
- 本の消毒：読書ボランティア
- 七夕・クリスマスの飾り：笹・クリスマスツリーの用意・装飾
- 算数九九学習支援：学習ボランティア
- 塩尻志学館高校との交流：塩尻志学館高校
- 通学路見守り活動：見守り隊(安心安全ボランティア、塩尻警察ボランティア、青少年育成協議会)
- 2年社会見学：見守り隊(学習支援ボランティア)

キッズお仕事チャレンジ

【校内スタンプラリー】



【前日準備】



【当日の様子】

【新体育館見学】



心身ともに健やかで明るい子ども
〈自尊心の育成、健康的に生きる力の育成〉



《塩尻志学館高校との交流》

一年を通して3年生が塩尻志学館高校と交流をします。総合学科の生徒さんに教えてもらいながら野菜作りの活動をしました。

今年は、大根、とうもろこし、ジャガイモを育てました。

写真は、ジャガイモの収穫の様子です。

笑顔があふれ、心が優しい子ども
〈前向きな生き方・人間関係構築力の育成〉



《クリスマスツリー、七夕飾り》

今年は、学校が6月から始まり、様々な季節的な行事が中止となりました。

その中で、ボランティアさんが、七夕飾りの笹やクリスマスツリーを学校に寄贈してくださいました。子どもたちは、大喜びで飾り付けをしました。

写真は、七夕会の様子です。

子どもたちの安心・安全をサポートする
〈地域の力の結集〉



《消毒や見守り》

子どもたちが安心して学校生活を送れるように、地域の方々が、毎日教室などの消毒作業をしてくださいました。

また、見守り隊の皆さんが、毎日、登下校時の安全確保をしてくださいました。

写真は、見守り隊の様子。

残念ながら、中止になった活動
チャレンジクラブ 花の寄贈 読み聞かせ(1回中止) 感謝の会

キッズお仕事チャレンジ 第3弾

～子どもたちに仕事の魅力伝えます～

桔梗小学校コミュニティ・スクール

昨年度に引き続き、学校の可能性を広げ、新たな保護者・地域とのつながりを開拓し、みんなで創り上げる過程を楽しむことを願い、第3回キッズお仕事チャレンジを計画・準備してまいりました。「子どもに興味がある講座の増設」「新たな講師開拓」「準備会議の精選」等新たなチャレンジに取り組み、キャリア教育支援部、PTA などで作る実行委員会が中心となり活動を進めてきました。しかし、前日になって、台風19号が接近するとのニュースにより、延期となってしまいました。どのように開催するか話し合った結果、平日に開催することを決定しました。12月24日に「第3回キッズお仕事チャレンジ」の内容を一部変更して開催しました。

当日は、子どもたちは、いくつかのグループに分かれて、短い時間でしたが、講師の方のお仕事について、お話をお聞きしたり、体験したりしました。講師の皆さんには丁寧な準備をしていただき、大変に充実した取組となりました。

始まったばかりのキッズお仕事チャレンジです。桔梗小学校コミュニティ・スクールの中核としてこれからも大切にしていきたいと思えます。

【開催当日までの流れ】



実行委員会（左写真）で期日、時間、講座の数を決定する。



講座の内容・講師の選定を行う。



低学年・中学年・高学年の講座を決定し、打合会の準備をする。



講師との合同打合会：講座の内容・当日の準備品・タイムスケジュールを確認する

【講座の様子】 ＊講座の様子抜粋

お花屋さん



花屋さんが教えてくれて、すごくきれいなアレンジができてうれしかった。お客さんの要望通りにアレンジできる花屋さんはすごいと思った。

朝は、3時から仕事をしていると聞きました。朝早くて忙しい仕事だと思いました。

障子屋さん



障子の職人さんがやると、とても簡単そうにみえました。でも、実際に自分でやってみると、全然うまく貼れませんでした。障子屋さんはすごいです。

プラスチックの入った障子紙は、とても丈夫でビックリしました。

消防士さん



消防署は、すぐ近くにあるのに、知らないことばかりで勉強になった。24時間働いているのがすごいと思った。命をまもってくれてありがとう。

消防士さんはいつも救助や消火作業をしていると思っていたけれど違ってビックリした。



福祉士さん



印刷屋さん



自衛官さん



新聞屋さん

【成果と課題】

○自分の仕事に誇りを持っている地域の方とのふれ合いを通して、キャリア教育を実践するとともに、郷土愛を育むことができた。

■回数を重ねることによるマンネリ化とならないよう、実施方法、内容を考えていきたい。

キッズお仕事チャレンジ 第2弾

～子どもたちに仕事の魅力伝えます～

桔梗小学校コミュニティ・スクール

昨年度に引き続き、学校の可能性を広げ、新たな保護者・地域とのつながりを開拓し、みんなで創り上げる過程を楽しむことを願い、第2回キッズお仕事チャレンジに取り組みました。

今年度は、「キッズお仕事チャレンジの深化・拡充」を目指し、「女子に興味がある講座の増設」「新たな講師開拓」「準備会議の精選」等新たなチャレンジに取り組み、キャリア教育支援部、PTAなどでつくる実行委員会が中心となり活動を進めてきました。当日は、17講座を開設、地域の方・保護者の方などが講師を務め、約160人も参加者がありました。1講座25分、短い時間でしたが講師の皆さんには丁寧な準備をしていただき、大変に充実した取組となりました。



【実行委員作成のチラシ】

昨年度「H29CSの起爆剤」と位置づけて始まったキッズお仕事チャレンジは、桔梗小学校コミュニティ・スクールの中核となる取組になってきました。

【講座の様子】

*講座の様子抜粋（写真下の吹き出しは「あなたにとってお仕事とは？」の答え）

おまわりさん



人との繋がり

保育士さん



子どもの頑張り応援団

消防士さん



君のためのヒーロー

和菓子職人さん



皆さんの笑顔

★トリマーさん



わんちゃんも飼い主さんも笑顔にできる仕事です

手話通訳士さん



人の気持ちに寄り添う仕事

銀行員さん



自分の成長と社会貢献

歯科大学の先生



お口から人々を幸せにする仕事

アナウンサーさん



映像 = movie 人を動かす仕事

【参加者の声】

- 講師をやった私自身が楽しかった。素晴らしい企画だと思います。児童の元気さに圧倒されました。様々な職業があるところが良いと思います。(講師)
- 子どもに付き添っての参加でしたが、**大人としても自分の経験したことのない職業のお話を伺うのはとても興味深く楽しい時間でした。**子どもも親以外の大人がどんな仕事をしているのか具体的に知り考えられる良い機会となったと思います。(参加保護者)
- 和菓子職人さんは簡単そうにやっていたけど、実際にやってみると難しかった。とてもきれいだった。食べるのは簡単だけど作るのは細かい模様もていねいに心を込めてきれいにやっているのわかりました。**カッコよかったです。**がんばってほしいと思いました。(参加児童)



〈講座を終えて談笑する講師・スタッフ〉

講師「新聞記者さん」の新聞記事 「質問」

仕事でも家庭でも、子供と話していると、時々はっとさせられる質問をされる。うまく答えられなかったり、何でだろうねとお茶を濁してしまったりすることもあり、もしNHKの番組で人気の「チコちゃん」が相手だったら叱られるだろう。

先日講師を務めた小学校では児童から「記者の仕事で大変なこととは何ですか」と聞かれた。一瞬つまり、いくつか浮かんだ回答の中から二つほどを選んで遠回しな表現で答えたが、果たして伝わったかどうか。～中略～なぜこの仕事を選んだのか、仕事のどんな部分が好きでどこが大変か、自分は何を大切にしているのか。「ぼーっと生きてんじゃねえよ！」と言われなかったためにも、たまには自らに問いかけて、自分の答えを見つけてみたい。(市民タイムス 10月23日 月見やぐら)



【成果と課題】

- 誇りを持って仕事をされている大人と接することを通して、子どもたちが将来への夢やあこがれを抱くよい機会となっている。
- 地域の方とのふれ合いにより、自分たちの街のことを知り、自分たちの街を誇りに思えるというコミュニティ・スクールのねらいに迫る活動として定着しつつある。
- ▲高学年児童等、より多くの児童が参加できる実施期日、日程となるよう計画していきたい。
- 回数を重ねることによるマンネリ化とならないよう、実施方法、内容を考えていきたい。

キッズお仕事チャレンジ ～子どもたちに仕事の魅力伝えます～

桔梗小学校コミュニティ・スクール

■学校運営協議会

1 第1回学校運営協議会

- ・熟議…桔梗小CSグランドデザイン検討
 - ・「育てたい子どもの姿」
 - ・PTA組織や活動とのつながり

2 第3回学校運営協議会(12月→8月)

- ・熟議…各支援部活動見直しと軌道修正
 - ・「キッズお仕事チャレンジ」
 - ・学運協メンバーで実行委組織
 - ・「地の利を生かした取組み」

「PTAとも協力しながら推進したらどうか」と大きな評価をいただく

3 第4回熟議題予定

- ・H29手応え、H30展望。第2回「キッズお仕事チャレンジ」計画。

【学校運営協議会の成果と課題】

- 学校運営協議会委員に地域教育協議会の各支援部長を務めていただいたり、各支援部長・副部長等の推進役を厚くしたりすることで、地域教育協議会と学校運営協議会との連携が厚くなり、支援部の活動も充実した。
- 学区通学路点検やPTA作業に支援ボランティアが参加する機会が増え、PTA活動との連携が進んだ。協議会に参加するPTA役員さんのお力添えが大きい。
- ▲職員、保護者、地域の方のCSへの理解と参加の促進。H29PTA広報紙での特集2回はありがたかった。

「生まれ育った街はどんなところ…？」

私たちの学区は人が増え、新しい街が造られ、たくさんの方がそれぞれの生活をしています。子どもたちが街の様子に関心を持ち、街が子どもたちを温かく包む。「この街に生まれてよかった」と誇りに思える地域作りを目指していきます。



(石井学校運営協議会会長)

■地域教育協議会

1 キッズお仕事チャレンジ

学校の可能性を広げ、新たな保護者・地域とのつながりを開拓し、みんなで創り上げる過程を楽しむことを願い、「H29CSの起爆剤」と位置付けて、取り組みました。

10月7日(土)キャリア教育支援部やPTAなどでつくる実行委員会が主催した初の企画「キッズお仕事チャレンジ」が行われ、約200人が参加して、地域で働く人たちから話を聞き、働くことへの興味を深めました。17講座を開設し、地域の方・保護者・塩尻商工会議所青年部の方などが講師を務めました。

1講座25分、短い時間でしたが講師の皆さんには丁寧な準備をしていただき、大変に充実した取組みとなりました。学区は若い地域ですが、魅力的で多様な人材の溢れる地域であることを再認識しました。次回開催に多くの方の期待が膨らんでいます。

<保護者作成のチラシ>

*講座の様子抜粋(写真下の吹き出しは「あなたにとってお仕事とは?」の答え) ★保護者

<p>造り酒屋さん</p>  <p>日本の文化を継承する仕事。</p>	<p>ガラス屋さん</p>  <p>やりがいを感じる瞬間です。</p>	<p>介護士さん★</p>  <p>かゆいところに手がとどく。</p>
<p>整骨院さん</p>  <p>人生最大の趣味。</p>	<p>消防士さん</p>  <p>恩返しです。地域や支えてくれた人たちの力になりたい。</p>	<p>心理カウンセラーさん★</p>  <p>人が本来持っている力を引き出すこと。</p>

《参加者の声》

- 仕事を知り興味をもってもらえることは、とてもうれしいこと。皆さんプロなのでお話が分かりやすく、仕事についてのイメージが広がる良い機会だと思いました。また参加したいと思います。(講師)
- 普段接することがない方のお話をうかがえて、とても新鮮で学ぶ機会になりました。学年が上がっても親が参加できたらうれしいです。たくさんの職業や視点をもつきっかけになるとと思います。(参加保護者)
- 整骨院さんのお話で、姿勢がいいと頭の反応がよくなることが勉強になりました。車いすや目かくしをしていると、お年寄りはとても大変だなと思いました。(参加児童)
- 子どもたちの笑顔がとても印象的だった。桔梗小学校 CS の新たな方向になる。いろいろな人から声がかかっている。時間・参加者の拡大を図りたい。運営がとてもよかった。(運営スタッフ、運営委員)

2 子どもたちの地域への貢献活動



<花の寄せ植えプレゼント>



<花苗お譲り会>



<なかよし道路落ち葉掃き>

【地域教育協議会の成果と課題】

- 今年度より各支援部に担当職員を配置したことにより、支援部と学校との連絡調整がスムーズになった。
- 「キッズお仕事チャレンジ」の実施により地域の方に学ぶ意味深さを実感することができた。
- ▲学習支援活動の充実と支援ボランティアの拡充。「キッズお仕事チャレンジ」でのボランティアの広がりを様々な活動へと広げていきたい。

読み聞かせや見守りなど、様々な支援ボランティアの皆さんに支えられて活動が出来ていることに感謝申し上げます。

今年は新たに「キッズお仕事チャレンジ」が開催されましたが、地域の方とのふれ合いによって「自らの街のことを知り、自らの街を誇りに思う」そんな子どもたちに成長してくれればと思います。



(中沢地域教育協議会会長)

「人とのつながり」を目指し動き始めた桔梗小学校コミュニティ・スクール 塩尻市立桔梗小学校

桔梗小学校運営協議会

【CSを通じて育てたい子どもの姿】

- | | |
|---|-----------|
| 1 | 人とつながる力 |
| 2 | 自分を見つめる力 |
| 3 | 課題を乗り越える力 |
| 4 | 職業をやる力 |
| 5 | ふ |
- なつめ、夢や目標を描く力
 見つけて、最後までやり抜く力
 もつて、興味や心を広げる力
 仕事に、味や関心を、自らかかわる力
 と仕塩尻のよさに気づき、

【第2回学校運営協議会 7月】

☆熟議の柱

「児童の安心安全にかかわって」

本校の最重要課題「交通事故から子どもたちを守る」について、様々な組織が連携しながら市や県に要望を挙げていくことの重要性を確認した。



8月、通学路合同点検時に区長さんも同席していただき、地域の実状を伝えることで、道路外側白線・路面表示の対策が実施された。

桔梗小学校

地域とつながり
地域に貢献・発信



[7月]寄せ植えプレゼント



[7月]地域の方へ花の苗配布

地域教育協議会

地域に支えられ
地域に学び育つ



[4月]学校支援ボランティア紹介式



[年間]読み聞かせ(読書活動支援部)



[年間]志学館高校生と野菜栽培



[年間]ブドウ栽培(学習支援部)



[7月・11月 高出音楽祭・広丘音楽祭参加]



[年間]登下校の見守り(安心安全支援部)



[秋・冬]なかよし道路落ち葉はき



[6月]PTA作業への協力(施設環境支援部)

【成果】

- 支援ボランティアの学習支援により、本物にふれた感動の学びが生まれてきている。
- 地域に役立つことを体験を通して学ぶことで、自己有用感が育ってきている。

【来年度に向けて】

- 支援ボランティアの拡充に向けて、新たに新入生保護者、地域の諸団体に声を掛けていく。
- 特別支援教育支援部、キャリア教育支援部を含め学校運営協議会、地域教育協議会がさらに充実したものとなるようPTA活動との連携と組織の再編を進める。





歴史と伝統を土台に つながりを育む 広丘小学校コミュニティ・スクール



広丘小学校は、明治 22 年広丘村の成立に伴い広丘尋常小学校として発足して以来、130 年以上の歴史を重ねてきました。学校にも地域にも確かな伝統が受け継がれています。



地域の「宝」～短歌～

「全校短歌の時間」「短歌掲示板」
「短歌の日」「みてある記」

つながるの「心」～奨善会～

「新校訓」の教え 公事の心

2025 年の重点

「あいさつ」「公事」と「伝え合い」自分を伸ばす私たち



短歌の里「広丘めぐり」「みてある記」

広丘めぐり



短歌館協力会の皆様から、短歌の里広丘の史跡について説明していただいています。

子どもたちはその説明をもとに地域への理解を深め、同時に地域への誇りを醸成しています。



六年生が「短歌の里広丘」を地域の皆様や保護者の皆様に紹介します。子どもたちは少し緊張しながらも学びや理解を深めた地域の宝について説明し、やり遂げた充実感も味わうことができました。

みてある記



…地域に「誇り」を感じる子どもたち

ボランティアの皆様を支えられた栽培活動や学習活動



ぶどう栽培

こんにゃく芋栽培

なかなか生活の中では味わうことのできない貴重な体験を、学校支援ボランティアの皆様にご支援いただいています。また、九九の習熟や家庭学習の補助などにより、手厚い指導が実現しています。



九九先生



米作り



…人とのつながりを通して、学ぶ「楽しさ」を会得する子どもたち

クラブ活動



リコーダークラブ

百人一首クラブ

今年十二のクラブが開設され、その多くで地域の皆様にご講師をお引き受けいただきました。子どもたちがそれぞれ活動する機会ができました。お招きにのめり込みながら、地域の良さを学び、講師の皆様に対し、感謝の気持ちを伝える活動を行っています。



放送クラブ



昔のくらしクラブ



…活動に没頭しながら、「憧れ」を抱く子どもたち

合同コミュニティ・スクール研修会や広丘めぐり等の活動において地域の方々からこの広丘について説明していただけることは、学校職員にとっても地域を知ることのできる貴重な機会となっています。子どもたちも、地域の方に学校職員とは違った視点で励ましていただいたり、温かくほめていただいたりしながら活動を行い、人とのつながりを通して、学ぶ喜びを体感しています。さらに、児童と、ボランティアさんと、学校とが、互いに高め合い、楽しみ合い、無理なく継続できる活動を展開し、地域ボランティアさんと共に歩む学校づくりに努めていきます。



地域・家庭の取組み

学校・子どもの取組み

	自律性を育む	コミュニケーション力を育む	創造力を育む	論理的思考力を育む	探究力を育む	内省的思考を育む
1年	学校探検 保育園交流 6年生との交流 生活科遠足			わたしたちの1年間 季節の遊びをしよう		
2年	乗り物遠足 わたしたちが住む町(広丘商店街・えんてらす) 歯科大生による歯科指導			大きく育て「あやみどり(大豆)」「こんにやく(芋)」 大きくなくなったわたし		
3年	ぶどう栽培(ブドウ農家交流) 広丘たんけん(わたしたちの塩尻市) 商店街・お店・市場のひみつ			消防署・市役所・短歌館見学 ぶどう栽培 昔のくらし		
4年	奨学会 代表生活・短歌新聞・放送・ 図書・運動・保健・環境・給食・ ボランティア・清掃・マーク あいさつ運動 バルマーク・かっこちゃんシール集め 手話集会・施設訪問・異年齢交流 給食感謝して食べる呼びかけ →SDGsにつなげよう			こまざ野村(施設交流) 環境 ISO 活動 浄水場・クリーンセンター・長野見学 奈良井宿見学・見学新聞作り		
5年				保育園交流 喫煙防止指導 歯科大生による歯科指導 工場(EPSON)見学		
6年				みてある記 1年生との交流 薬物活用防止指導 短歌学習 (短歌館・公園・歌碑・駅・商店街・牛屋・生家)		
PTA 地域	奨善塾 学習、見守りボランティア クラブ活動講師					

地域で学ぶ・地域に学ぶ・地域と学ぶ・地域に導く

一人一人のキャリア・パスポートにつなげる

短歌：短歌づくりや 作品の鑑賞
短歌の日・短歌集・短歌ノート



学校目標 **正しく 強く 美しく**

連携・協働するコミュニティ・スクール活動

他者(もの・こ
と・人)との関
係の中で、より
よさを追究し、
自分で行動す
る力。

自分と相手とのやり
とりを続ける中で自
己理解・他者理解を
する力。

自分にとって初め
てのものや価値を
創り出す
力。

知識や情報を
生かしながら
対象がも
つ文脈や構造
を明らかにす
る力。

物事を
本質を
探って
いく力。

え
自分の考
えや行
動を振
り返り、これ
からの自分
のあり方を
考える力。

育みたい資質・能力
〈領域〉

つなげよう、仲良く、あそぶ広丘の子ども、つなげる、つなげる

令和7年度 広丘小学校コミュニティ・スクール年間計画

学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	給食の楽しみかせ (読書ボランティア)	短歌の楽しみかせ (外部講師)	短歌づくり (外部講師)	短歌鑑賞 (学習ボランティア)	短歌鑑賞 (外部講師)							
2年	社会:広丘たんけん (外部講師)	社会:初めての習字 (学習ボランティア)	社会:ふどうの親話 (地域講師)	社会:ふどうの親話 (外部講師)								
3年	社会:ふどうの育て方 (外部講師)	社会:ふどうの習字 (学習ボランティア)	社会:ふどうの親話 (地域講師)	社会:ふどうの親話 (外部講師)								
4年	社会:ふどうの育て方 (外部講師)	社会:ふどうの習字 (学習ボランティア)	社会:ふどうの親話 (地域講師)	社会:ふどうの親話 (外部講師)								
5年	家庭科:初めての裁縫 (学習ボランティア)	家庭科:初めての裁縫 (学習ボランティア)	家庭科:初めての裁縫 (学習ボランティア)	家庭科:初めての裁縫 (外部講師)								
6年	田んぼづくり・畑仕事 (学習ボランティア)	田んぼづくり・畑仕事 (学習ボランティア)	田んぼづくり・畑仕事 (学習ボランティア)	田んぼづくり・畑仕事 (外部講師)								
特別支援												
通年活動	学校運営協議会 地域教育協議会	学校運営協議会 地域教育協議会	学校運営協議会 地域教育協議会	学校運営協議会 地域教育協議会	学校運営協議会 地域教育協議会	学校運営協議会 地域教育協議会	学校運営協議会 地域教育協議会	学校運営協議会 地域教育協議会	学校運営協議会 地域教育協議会	学校運営協議会 地域教育協議会	学校運営協議会 地域教育協議会	学校運営協議会 地域教育協議会
各 地 区 民 館	木上広場 (野村)	木上広場 (野村)	木上広場 (野村)	木上広場 (野村)	木上広場 (野村)	木上広場 (野村)	木上広場 (野村)	木上広場 (野村)	木上広場 (野村)	木上広場 (野村)	木上広場 (野村)	木上広場 (野村)

歴史と伝統を土台に つながりを育む 広丘小学校コミュニティ・スクール



広丘小学校は、明治22年広丘村の成立に伴い広丘尋常小学校として発足して以来、130年以上の歴史を重ねてきました。学校にも地域にも確かな伝統が受け継がれています。

地域の「宝」～短歌～
「全校短歌の時間」
「短歌掲示板」「短歌の日」
「みてある記」

つながる「心」～奨善会～
「新校訓」の教え 公事の心



今年度重点
「あいさつ・公事と 自分の考え書いて伝える私」

地域教育協議会

学校支援ボランティアさんの紹介式



合同CS研修会



「校区のお宝発見」のワークショップを実施

広丘キラキラCafé

今年度、これまでの休み時間安全見守りを見直し、校内に学校支援ボランティアさんに集っていただく場を設けました



行く行くは、学校ボランティアさんと児童の交流の場にも…

学校運営協議会

それぞれの立場で何ができそうか考えましょう

今年度のコミュニティ・スクールと教育活動のあり方について熟議



活発に討論する奨善会総会参観「学校の目指している子どもの姿が理解できたように思います」



ボランティアさんに支えられた各学年の栽培活動



ぶどう栽培



稲刈りの手ほどきを受けて



千歯こきを使って脱穀



こんにやく芋栽培

貴重な体験を学校支援ボランティアさんに支えていただいています

人とのつながりを通して 学ぶ喜びが増えていく子どもたち

クラブ活動



火起こしに挑戦
昔のくらしクラブ



シャトルをねらって
バドミントンクラブ



音楽クラブは
リコーダーの美しい調べを重ねました。



ひろおか音楽祭
アナウンスに挑戦
放送クラブ



のこぎりや金づちを使って
制作 木工クラブ

今年度も、5・6年生を対象として15のクラブを開設し、13のクラブで地域の方を講師としてお招きすることができました。

短歌の里 広丘めぐり(5月)



短歌館協力会の方々から
短歌の里について説明



6年生が「短歌の里 広丘」を地域の方や
保護者の方に観光案内します



今年は吉田小の6年生
も招いて案内しました

自分たちの住む地域に誇りを感じる子どもたち



九九先生

覚えた九九を聞いてもらって合格

スタンプをもらう2年生。たくさんのボランティアさんにおいでいただいたので、何度でもチャレンジすることができました。



合同コミュニティ・スクール研修会や広丘めぐり等の活動において地域の方々からこの広丘について説明していただけることは、学校職員にとっても地域を知ることのできる貴重な機会となっている。子どもたちも、地域の方に学校職員とは違った視点で励ましていただいたり、温かくほめていただいたりしながら活動を行い、人とつながりを通して、学ぶ喜びを体感している。

さらに、児童と、ボランティアさんと、学校とが、互いに高め合い、楽しみ合い、無理なく継続できる活動を展開し、地域ボランティアさんと共に歩む学校づくりに努めていきたい。

歴史と伝統を土台に 新たな つながり を育む 広丘小学校コミュニティ・スクール ～コロナ禍を越えて～

広丘小学校は、明治22年広丘村の成立に伴い広丘尋常小学校として発足して以来、130年以上の歴史を重ねてきました。学校にも地域にも確かな伝統が受け継がれています。

地域の「宝」～短歌～
 「全校短歌の時間」
 「短歌掲示板」 「短歌の日」
 「みてある記」

つながる「心」～奨善会～
 「新校訓」の教え 公事の心



地域教育協議会



学校支援ボランティアさんとの対面式

全校児童606名 職員60名



各支援部担当職員との懇談

1年七夕集会



♪「七夕さま」
 ボランティアさんのハーモニカと一緒に演奏

ボランティアさんが切ってきてくださった笹竹に短冊や飾りが揺れています

学校運営協議会



コロナを越えた教育活動のあり方について熟議

短歌の里 広丘めぐり (1学期)



短歌館協力会の方々の、分かり易く興味深いお話に感激
 「広丘って素敵なおとこだ」

短歌の里 観光案内 みてある記 (2学期)

「短歌の里(ふるさと)広丘」を、6年生が地域や保護者の方に観光案内



英語での説明にも挑戦

～大きく育てね～
学級園の栽培活動に願いを込めて



こんにゃく芋栽培

田植え
苗の持ち方や植え方を丁寧に教えていただいて



稲刈り
鎌で刈る貴重な体験



ぶどう栽培 今年は学校ボランティアさんに加えて広陵中の1年生にも教えていただきました



人とのつながりを通して学ぶ喜びを体感する子どもたち

クラブ活動



まが玉作りに挑戦
昔のくらしクラブ

地域を守る神様発見
広丘たんけん
クラブ



音楽クラブは
リコーダーの美しい調べを重ねました。



ひろおか音楽祭
アナウンスに挑戦
放送クラブ



のこぎりや金づちを使って
本棚を制作 木工クラブ

今年度も、5・6年生を対象として15のクラブを開設し、そのすべてのクラブで地域の方を講師としてお招きすることができました。

クラブ活動を終えられた講師の方から「地域と学校のつながりの一端になれたかなと思います」「子どもたちは熱心に話を聞いてくれ、感心しました。素直な気持ちが作品にも表れてうれしかったです」等の感想をお寄せいただきました。

来年度に向けて

- こんにゃく芋栽培も、米作りも、ブドウ栽培も子どもたちが簡単にできる活動ではなく、貴重な体験を学校支援ボランティアさんに支えていただいている。子どもたちも、励ましていただいたり、温かくほめたりしていただきながら作業を行い、人とつながりを通して、学ぶ喜びを体感している。学校支援ボランティアさんからいただいた感想からも、子どもたちと触れ合うことの喜びややりがいを感じていただけたことが伺える。
- 地域をよく知っている方々からこの地について詳しく説明していただいた経験は、子どもたちが地域に誇りを持つ姿につながっている。
- ▲ 今年度の学校評価アンケートでは「学校支援ボランティアさんと協力し教育活動の充実を図れた」の回答が65%にとどまっている。コロナ禍後の協力推進を更に図りたい。

コロナ禍であっても つながりを 求めつづけて ～クラブ活動を中心に～ 広丘小学校コミュニティ・スクール

本校の重点目標 **3つ** をめざし、伸びようとする広丘の子ども
～つたえる・つづける・つながる～

～つながる つづける～

3年ぶりの実施 **クラブ活動**

新型コロナウイルスの感染拡大を受けR2・3年度中止となっていたクラブ活動が、復活しました。5・6年生を対象として15のクラブを開設し、そのすべてのクラブで地域の方を講師としてお招きすることができました。



細かな造形が美しい
切り絵クラブ



音楽クラブは
リコーダーの美しい
調べを重ねました。



火おこしに
挑戦
昔のくらし
クラブ



のこぎりや金づちを使って
本棚を制作 木工クラブ



チームプレイも学んだ
バスケットボールクラブ



模型飛行機
制作
ものづくり
クラブ

～講師の方から～私にとっても教えることは久しぶりでしたので少々不安がありました。実際の活動では、製作途中に難しい部分もあったのですが、それに向かう子どもたちの姿に励まされました。

～つながる つづける～

3年ぶりの実施 奨善塾

学校とPTA、広丘公民館、広丘小コミュニティ・スクールとの共催で、こちらも3年ぶりの奨善塾が休日に実施されました。蜜を避けるため、参加を申し込まれた方々から抽選で参加者を限定し、7つの講座が感染対策を講じて開催されました。



スラックライン講座

和菓子作り講座



けん玉講座



広丘巡り講座



食品サンプル作り講座



走り方講座

～つたえる～

学校運営協議会

短歌の里 広丘 みてある記

アクションプラン実現に向けた熟議で、それぞれのお立場からどのように関わっていくか見通しを持つことができました。



来年度に向けて

- クラブ活動において、児童は自分の興味のある活動を選び、技や知識をお持ちの講師の方から普段の授業ではなかなか追究や体験することができない内容にも触れさせていただき、充実感を得ることができていました。学校の先生以外の方からも認められ、励まされる経験は、人との関わりを楽しみにする姿につながっていきます。
- 講師の方々も、お寄せいただいた感想から、子どもたちと触れ合うことの喜びややりがいを感じていただくことができていたことが伺えます。
- ▲ 学校支援ボランティアの活動を保護者の方に直接説明する機会がないことから、連携・協働の意識を高めたり持続したりできるような情報発信が課題です。

地域で学ぶ・地域に学ぶ・地域と学ぶ・地域に返す 広丘小学校コミュニティ・スクール

地域で学ぶ ～ 公民館等が主体となって学校ではできない経験を



原新田公民館による「夜の昆虫ウォッチング」

魅力的なチラシで募集定員はすぐいっぱい



毎年人気のものづくり体験講座



丘中科学部サイエンスラボ



昔のもの講座では謄写版印刷を体験



おもしろさと不思議さに目が輝く静電気実験



広っ子 宿題お助け隊 で学習環境の提供と支援

昨年から続く新型コロナウイルス感染症の影響で、学校では、学校支援ボランティア等の外部支援者による校内での活動を大きく制限せざるをえませんでした。また、今年度は今までよりも長い夏休みとなりました。そのような状況の中で、広丘公民館や各地区公民館等では、夏休みを中心として様々な企画をし、子どもたちの興味・関心の幅を広げたり、親子で参加できる活動を工夫したりして取り組んできました。塩尻短歌館や広丘児童館でも子どもの活躍の場を広げています。

地域に学ぶ ～ 身近な施設や人を利用して



「短歌の里」について学ぶ6年生



シトラスリボン 今年は松山の甲斐さんとリモートで



地元企業エプソンを見学する4年生



今村橋の建設現場を見学する2年生

地域と学ぶ

<3年生 ブドウづくり>



学んだことを新聞や絵画で表現

地域に返す

<4年 こまくさ野村 との交流>



「人権の花運動」で育てた花のタネを持っていきました



畑で育てたサツマイモをプレゼントし、お手紙をいただきました

成果と課題

- 従来は、学校の教育活動に支援をいただくことが比較的多かったが、えんてらす、地区公民館等の企画により、地域で子どもが学ぶ機会や居場所が多くできた。学校と地域で育てたい子ども像を共有し、それぞれの立場でできることを検討、実践することができた。
- 校内での活動では、昨年はできなかった読み聞かせボランティアや、新しく始めた来入児健診の案内等、実施時期や支援方法に配慮しながら進めることができた。
- 2年間休止していたクラブ活動等で、また地域講師の皆さんと活動できるよう検討したい。

コロナ禍の今できること 今だからできたこと

広丘小学校コミュニティ・スクール

奨善会（児童会） シトラスリボン・プロジェクト



奨善会の役員で作り方を教わって広めることに

シトラスリボン・プロジェクトは、コロナ禍で生まれた差別、偏見を耳にした愛媛の有志が立ち上げたプロジェクトです。愛媛の柑橘をイメージしたシトラスカラーが特徴で、県内では、学校運営協議会委員で北部拠点センターえんてらすマネージャーの中野實佐雄さんが、いち早く取り組んでいました。

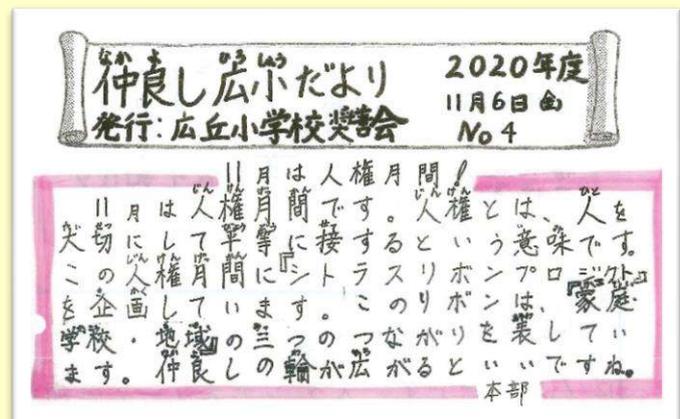
このことを知った奨善会（児童会）で、全校でこのプロジェクトに参加しようと決めました。リボンをつけることで、一人ひとりの児童が、差別や偏見を生まないと同時にあらゆる立場の方に思いやりの心を持つことを確かめ合っています。



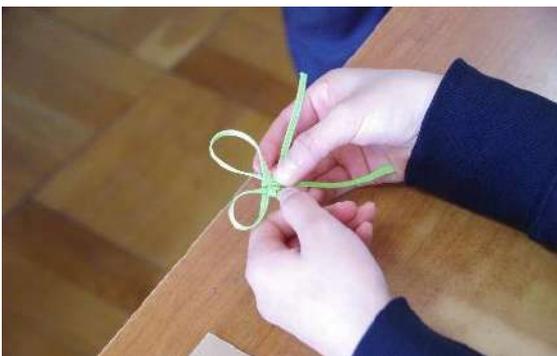
放送で なかよし集会を行い、思いや願いを共有

おもな活動内容と日程

- 10月29日 奨善会正副会長が中野さんからプロジェクトについてのお話を聞く。
- 11月 4日 役員約40名が中野さんのお話を聞く。
- 11月 6日 奨善会だよりで全校に概要を伝える。



- 11月10日 リボンの作り方を講習する。
- 11月20日 なかよし集会で全校に参加を呼びかけ。
- 11月24日～26日 5年生がリボンの材料を準備。
- 11月27日～12月2日 6年生がリボンづくり。
- 12月 3日・4日 4年生がリボンにストラップ付け。
- 12月 5日～ 姉妹学級をとおして全校でランドセル等につける。



家庭・学校・地域を表す3つの輪をつくる6年生



ランドセルやバンケースにつけて意識を継続

奨善会役員児童の感想より

全校のみんなが、配布したその日につけてくれて、やってよかったと思いました。クラスでも「シトラスリボンってどんな意味だっけ？」と興味をもったり、進んでリボンづくりをしたりする友だちがいて、みんなの意識が高まったと感じました。今年の奨善会目標「仲よし 広丘小！ みんなでつなごう～あいさつ・公事・交流の輪～」を達成できたと思います。

今年度のおもな学校支援ボランティア活動

<4・5月の臨時休業期間を使った環境整備>



枝払いで校外行事の大型バス出入りもスムーズに



危険が伴う大木の伐採もこの機会に実施

<感染レベルに応じた3密対策をとって>



読み聞かせにプロジェクターを使用



手話の講習会は、距離をとりマスクを着用

<屋外の活動では できることを見極めて>



登下校の見守り、校外学習の付き添いで安心を確保



総合的な学習の時間もできる範囲で継続支援

成果と課題

- 学校運営協議会委員のアイデアや地域とのパイプで、シトラスリボン・プロジェクトや樹木の整備等ができた。短歌館やえんてらす、地区公民館とも協力して活動を進められた。
- シトラスリボン・プロジェクトについて市民タイムで紹介され、回復した感染者、近親者を新型コロナウイルス感染症で亡くされた方から「とても勇気づけられ嬉しかった」との声が寄せられたり、地域の方からも賛同や応援をいただいたりと、大きな手応えを感じた。
- 例年と同じ活動ができなかった支援部では、支援方法や内容を検討していきたい。

新しい つながり 広がり を求めて ~クラブ活動を中心に~ 広丘小学校コミュニティ・スクール

つながり 新たなクラブ活動

今年度は、新たに6つのクラブを開設しました。そのうち4クラブは地域の方を講師とするクラブです。中には、以前あったクラブを、児童の希望で復活させたものもあります。

広がり 新たな発表の場

新たなクラブ活動の発表の場として、広丘音楽祭や広丘地区文化祭に出演、出品しました。



←火おこしに挑戦
昔のくらしクラブ

音楽クラブは→
リコーダーで
音楽祭に出演



音楽祭の進行を→
務める放送クラブ



←温かみのある
絵が描けた
絵手紙クラブ



細かいところに→
集中してできた
切り絵クラブ



新しい人とのつながり、多くの人に見てもらえる場の
広がりで、昨年よりさらに一歩前進したクラブ活動が
できました。

地区文化祭での
展示のようす



魚や鳥、動物などを作って楽しんだ
ダンボール工作クラブ



木工クラブは本だなを製作して
地区文化祭に展示

継続してつながることでさらに充実するさまざまな支援



①

- ①陸上部
- ②スポーツテスト
測定補助
- ③自転車部
- ④通学路見守り
- ⑤サッカークラブ



②



③



④



⑤



⑥

- ⑥初めての毛筆
- ⑦読書支援部の
おはなし会練習
- ⑧校外学習付き
添い見守り支援



⑦



⑨

⑨プログラミングを先取りしたパソコンクラブ



⑧



⑩

⑩茶道クラブ

成果と課題

- 学校運営協議会委員が進んでボランティアとして活動したり、それぞれの立場で積極的につながりや広がりに取り組んだりして、充実した活動ができた。
- 毎年支援を続けているボランティアさんから「今年もそろそろやりましょうか」と声を掛けていただくことが何件もあり、支援者も楽しみにしていると実感した。
- 学校職員との連携も慣れてきて、スムーズに進めることができた。
- ▲ 保護者にボランティアを経験してもらおうことや、各支援部の活動を知ってもらうために、「コミスク通信」や各学年だより等で、具体的なようすを伝え続けていきたい。
- ▲ 学校では毎年職員の入替わりが多いので、支援の時期や内容について引き継ぎたい。

「九九おじいちゃん・おばあちゃん」「クラブ活動」 広丘小学校コミュニティ・スクール

九九おじいちゃん・おばあちゃん



笑顔の
かけ算



素敵な笑顔がたくさん生まれました。この活動のキーワードは…

$$10 \times 10 + \heartsuit = 201$$

この活動は清掃後の習熟の時間（10分間）に九九おじいちゃん・おばあちゃん先生に九九を聞いてもらうというものです。

各クラスに、5～6人のおじいちゃん・おばあちゃん先生が毎日来てくださり、おじいちゃん・おばあちゃん先生の前で一人ずつ九九を唱え、合格するとシールがもらえます。

おじいちゃん・おばあちゃん先生は、優しい笑顔で一人ひとり丁寧に聞いてくれます。子どもたちも聞いてもらえるのがうれしくて、何度も並んで九九を唱えています。一人ひとりが、ほめてもらえるうれしい時間となり、子どもたちの意欲にもつながっています。

2年生を対象に10日間実施されました。期間中に来校してくださった方は、のべ201人となりました。

とっておきの話

今回の新しい試みは、私にとって非常に刺激的であり、大げさかもしれませんが、今回の機会是我们に生きる勇気や活力をいただいたと言っても過言ではありません。

子どもたちの一生懸命でひたむきな九九の暗唱、少々つかえる子には周りの子が応援したり、帰り際には「また来てね」とハイタッチされたり…。九九を通してお互いに直接の交流、学びの接点が生んだ「子ども」と「お年寄り」の素晴らしいコミュニティ、交流機会、大きなインパクトに繋がったと思います。

私たちボランティア同士も、今まで見知らぬ人と会話し、知り合えることができました。これは地域のコミュニティづくりに繋がると考えています。

キーワードの答え

- 10 → 10分間で
- 10 → 10日間の実施
- ハート → みんなの笑顔で
- 201 → のべ201人



クラブ活動

やってみたら
やっぱり楽しい!

子どもたちが楽しみにしているクラブ活動。
この活動のキーワードは…

16 / 18



クラブ活動は4・5・6年生を対象に10月4日～30日まで8時間（2時間×4日間）実施されました。今回は、地域の方々に講師として活動に参加していただき、全部で18の講座のうち16講座を担当していただきました。

地域の方々とのおふれあいや、専門的な指導は、自分の興味関心を生かしたいという子どもたちの願いとつながって、とても楽しく充実した時間を過ごすことができました。

（キーワードの答え 全18講座のうち16講座が地域講師で活動充実！）

成果と課題

- 人とのかかわりを通して、学ぶよろこびを感じながら活動する姿が多くなりました。お互いに高め合い、楽しみ合い、無理なく継続できる活動が展開されています。
- 学校職員にとっても、専門的な知識・技術を学ぶ機会となっています。
- さまざまな児童の様子や現状を知っていただき、学校への理解が深まっています。
- ▲ 学校評価アンケートでは、「学校支援ボランティアによる活動が積極的に行われている」について、「そう思う・ややそう思う」が84%と以前より10%増加し、「わからない」は13%減少して11%となっています。今後もさらに保護者や地域の方への情報発信が必要であると思われます。

歴史と伝統を土台に 新たな つながり を育む 広丘小学校コミュニティ・スクール



広丘小学校は、明治22年広丘村の成立に伴い広丘尋常小学校として発足して以来、130年以上の歴史を重ねてきました。学校にも地域にも確かな伝統が受け継がれています。

- ・児童数 700 名以上・全 27 学級
- ・2 つの中学校区（広陵中・丘中）
- ・4 つの地区（原新田・堅石・郷原・野村）

地域の「宝」～ 短歌～
「全校短歌の時間」
「短歌掲示板」
全国短歌フォーラム「みてある記」

つながる「心」～ 奨善会～
「新校訓」の教え
楽しさや感謝の気持ち、公事の心



学校運営協議会 地域教育協議会

「めざす子ども像」の語り合い（左）
「活動計画」の話し合い（右）



支援ボランティアのみなさんと児童との対面式



いつも私たちのために読み聞かせをしてくださったり、登下校の時に私たちの安全を見守ってくださったり、ありがとうございます。私たちは地域のみなさんに支えられて学習が進められてとてもうれしいです。これからもよろしくお願いします。

（奨善会代表あいさつより）

各支援部の主体的な活動

「つづける」 ～ 今まで以上に充実してきている活動 ～



お話会（読書旬間）



読み聞かせ（左：朝の活動



右：給食準備中）



マラソン見守り



水泳見守り



自転車部



クラブ活動



ものづくり

「つながる」 ～ 新たな試みとして実施された学習支援活動 ～



走り方



裁縫



ミシン



生活科遠足



広丘たんけん



大なわとび



書き初め



くぎうち名人

とっておきの話

子どもたちは、はじめは話を聞いているだけでしたが、慣れてくると、Mさんに木を組んで「どこに釘を打てばうまくいくの？」と質問する子がでてきました。

Mさんも木の組み方や形を工夫している子を見つけると「いいねえ。」「なかなか考えてるよ。」と声をかけてくれました。

釘が曲がってしまうと「とってください。」と自分から頼んで抜いてもらっている子どもたちも大勢いました。

成果と課題

- 人とのかわりを通して、学ぶよろこびを感じながら活動する姿が多くなりました。
- 安全確保が確実になされ、危機管理のリスクを軽減することができています。
- 学校職員にとっても、専門的な知識・技術を学ぶ機会となっています。
- さまざまな児童の様子や現状を知っていただき、学校への理解が深まっています。
- ▲ 学校評価アンケートでは、「学校支援ボランティアによる活動が積極的に行われている」について、「そう思う・ややそう思う」が74%と以前より増加した一方で、「わからない」が18%となっており、保護者や地域の方への情報発信が必要であると思われます。

歴史と伝統を土台にして 新たなつながりを育む 広丘小学校コミュニティ・スクール

広丘小学校は、明治22年広丘村が成立したのに伴い広丘尋常小学校として発足して以来、明治・大正・昭和・平成と100年以上の歴史を重ねてきました。学校にも地域にも確かな伝統が受け継がれています。

- ・児童数700名以上・全25学級
- ・2つの中学校区（広陵中・丘中）
- ・4つの地区（原新田・堅石・郷原・野村）

地域の「宝」～短歌づくり～
「全校短歌の時間」
「短歌掲示板」



全国短歌フォーラム
「見てある記」



つながる「心」～奨善会～
「新校訓」の教え
楽しさや感謝の気持ち、公事の心



広丘小学校コミュニティ・スクール

校長

- ・学校運営の基本方針
- ・学校運営・教育活動

説明

学校運営協議会

承認

熟議

依頼

支援

学校支援
コーディネーター

代表参加

意見

説明

地域教育協議会

- ・学習・キャリア教育
- ・特別支援教育・読書活動
- ・安心安全・部活動・学校環境

協働

参加

保護者
地域の
みなさん

「学び」の成果を「めざす姿」に

2学期にできるようになったこと



「正しく」
「強く」
「美しく」



201
あいさつできる人がふえてきた。
給食を残さない。

4の3

レザンホールで、マイクを使わずに
いちばん後ろまで聞こえる声で発表
できた。

子どもの姿をもとにして語り合う
学校運営協議会（熟議）

- さらに短歌の「書く」を自己表現につなげていきたい。
- 学校の役割として「発信」を大切に
して話題提供が必要である。
- 大人が挨拶できていない。まずは
大人からはじめよう。

広丘の子どもたちをどう育てるか

各支援部の主体的な活動に

安全安心「見守り」



部活動「技術支援」



キャリア教育「体験教室」



読書活動「読み聞かせ」



研修会講師

月に1~2回の「読み聞かせ」の時間には全学級で講師の方による活動が展開されています。本に親しむ機会を大切にしようという地域の方々の願いが受け継がれ、大切な活動となっています。爽やかな朝に素敵なひとときが育まれています。

低学年への給食準備時の読み聞かせやプロを招いての研修会など、新たな試みが始まっています。これらの取組は、活動に関わるみなさんの願いから生まれました。

成果・課題

- 活動を通して、子どもたちの「学ぼう」という意欲が高まっています。
- 安全確保が確実になされ、危機管理のリスクを軽減することができます。
- さまざまな児童の様子や現状を知っていただき、学校への理解が深まっています。
- ▲具体的な「めざす姿」を語り合い、学校・保護者・地域が必要感を共有して活動することをどのように継続・発展させていくかが課題となっています。



自分を語る人を目指して

～ 広陵中学校 コミュニティ・スクール ～



4月 キャリア教育合同研修

陵風タイム(総合)の地域講師の皆さんと学校職員合同の研修会。年度の始めに思いを共有しました。



4・5月コミュニティ・スクール始動

第1回 学校運営協議会



地域ボランティアさんの紹介式



6月 キャリア教育出前講座(2年)

「ヘアカラーと前髪カット体験」「爪先を彩るネイルアート体験講座」「動物と関わるお仕事について知ろう」など全9講座を開講。本格的で専門的な体験ができる貴重な時間をいただきました。



7月 校区合同 コミュニティ・スクール研修会



コミスク10年の節目に伴い、各校の学校運営協議会長の思いをオンラインで聞き合いました。次の10年に向けてどう進むべきか、ご示唆をいただきました。



6～9月 ボランティアさんの 学習支援



10月 職場見学(2年)



11月 保育園との交流(1年)

最後のカリヨンタイム (陵風祭コミスクフェスタより)

昨年度より、2・3年生の縦割り講座別学習「カリヨンタイム」のあり方を検討してきました。より探究的で主体的に、そして自分らしい生き方を考えていく学びするために、長年継続してきたカリヨンタイムの学習は、今年度限りとなります。最後のカリヨンタイムも陵風祭で立派に発表してくれました。また、皆さんのご協力をいただき、たくさん地域に出かけて、学習の成果を発表させていただきました。

ダンススポーツ講座



見ている人を楽しませよう！全校が一つになって盛り上がるステージを作り上げました。

めざせ弁論大会講座

自分の考えを最大限伝えるためにはどうしたらよいか、半年間たくさん悩みました。



プログラミング講座



ちょっと面白いプログラム搭載した、誰でも楽しめるおもちゃを開発！

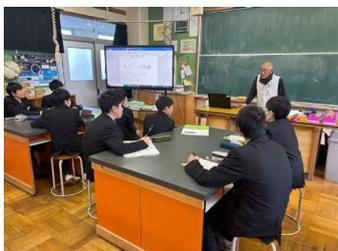
ハンドベル講座

大門七区文化祭に呼んでいただき、皆さんに楽しんでいただきました。



11・12月地域学習・キャリア学習の新たな試み

地域の大人に学ぶ職業観・人生観(1年)



カリヨンタイムの講師の皆さんの思いを存分に受け止めました。

地域での合唱交流発表会(3年)



ずっと大事にしてきた合唱。たくさん地域の皆さんに届けました。

【今年度の成果・来年度の方向】

ある生徒はカリヨンタイムを終えて「この講座で身につけたことを生かして、**地域へ広げる・関わる活動**をしたい。」「商品開発は**いろいろな人のフィードバック**を受けて、改善したい」といった、さらに人と関わりながら学びを深めたいという思いをもちました。来年度、総合的な学習は大きく形を変えます。このような思いを大切に、あらゆる地域学習の折には、講師の皆さんのご協力をいただきながら、学習を進化・深化させます。

育みたい資質・能力〈領域〉

コミュニケーション力を育む

自分と相手とのやりとりを続ける中で自己理解・他者理解を進め自分の言葉で語るができる。

自律性を育む

他者（ひと・もの・こと）との関係の中で、よりよさを追究し、自分の姿で語るができる。

内省的思考を育む

自分の考えや行動を振り返り、これからのあり方について、自分の心と語るができる。

論理的思考力を育む

知識や情報を生かしながら、対象がもつ文脈や構造を明らかにし、自分の言葉で語るができる。

創造力を育む

自分にとって初めてのものや価値を創り出し、自分の心と語るができる。

探究力を育む

物事の本質を探っていく力。自分の心と語り、自分の姿と言葉で道を切り拓くことができる。

めざす生徒像 『自分を語れる人になる』～自分の言葉で語れる・自分の心と語れる・自分の姿で語れる～

地域と共に生徒一人一人を大切に作る学校を目指して

登下校・校内・家庭でのあいさつ・無言清掃・委員会活動等、これまでの活動に加え、多様な人との地域交流・ボランティア活動を通して自分を知り、地域を知り、その過程のつながりを通じ、キャリアパスポート（自分を語るための成長の記録・自己史）を活用しながら、個人の資質・能力を育む。

地域ボランティア活動・地域学習

- ◎人権福祉学習
- ・公民館活動との連携協力
- ◎保育学習
- ・広丘南保育園との連携
- ◎地域参画活動
- ・ゴミ拾い登校
- ・Connect with local
- ・地域ボランティア活動
- ◎部活動地域移行（展開）
- ◎職場体験学習
- ◎地域貢献
- ・Connect with local
- ・生徒の作品の出版
- ・ボランティア活動
- ・社協、活動団体との連携・裁話したびどう提供
- ・ゴミ拾い登校
- ・地域行事へ協力
- ◎学習支援
- ・公民館活動への協力
- ◎カリヨントタイムの発表（学習の成果を地域で）

◎キャリア学習

- ・カリヨントタイム
- ・マナー講座
- ・職場体験学習
- ・職業調べ
- ・キャリアパスポート作成
- ・保小中高連携

陵風祭

生徒会活動

あいさつ・歌謡・清掃

総合的な学習ステップアップ
カリヨントタイム
陵風タイム

◎特別支援教育

- ・7, 8, 9組の活動
- ・日本語教室の活動

◎部活動

- ・運動部(10)
- ・文化部(4)
- ・社会体育

学校支援ボランティア

- ◎安心・安全
- ・交通安全教室
- ・あいさつ運動
- ・見守り・声かけ
- ◎学習支援
- ・カリヨントタイム講師
- ・放課後学習支援
- ・家庭科実習
- ・農業支援（ぶどう・えごま・かぼちゃ等）
- ・ICT学習
- ・不登校生徒への多様な支援
- ◎環境整備
- ・資源物回収
- ・PTA作業
- ・絆の庭の整備
- ・記念樹整備
- ◎読書活動
- ・図書館ボランティア
- ・読み聞かせ
- ◎部活動地域移行（展開）
- ◎地域啓発・活用・支援

学校・生徒・地域・家庭での取組み

協働活動

学校運営協議会・地域教育協議会・PTA組織・地域公民館・地域自治会（組織間の連携強化）

令和7年度 広陵中学校コミュニティ・スクール年間活動計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校行事	入学式 交通安全教室 3年：修学旅行	第1回学校公開 1年：高速自然体験学習	第2回学校公開			陵風祭		第3回学校公開		第4回学校公開		卒業式
会議等	CS懇談会① 学校運営協議会① 地域教育協議会①	CS懇談会②	学区合同CS懇談会③(広陵中)	校区合同研修会 (本校会場 +オンライン)		CS懇談会④	CS懇談会⑤	CS懇談会⑥	学校運営協議会③	CS懇談会⑦	学校運営協議会④ 地域教育協議会②	CS懇談会⑧
ボランティアの皆さんの活動		ボランティア紹介式										
		登下校見守り支援										
		環境整備支援										
		農業支援										
		家庭生活部茶道指導										
総合的な学習等		カリヨuntime ①②③ ふいどう栽培支援	カリヨuntime④	カリヨuntime⑥	カリヨuntime⑦	カリヨuntime ⑧~⑩	カリヨuntime⑩					
生徒会活動						コムスクエア						
		ペットボトルキャップ収集 (地域からの協力あり) アルミ回収		読み聞かせ ボランティア		お洋寄りとの手紙交流	読み聞かせ ボランティア	郷原ミニテイサー ピス交流				
PTA活動等						資源回収(アルミ缶)		PTA/バザー (リサイクル販売)				
地域ボランティア活動等							堅石地区文化祭	広丘地区文化祭				
								Connect with local (地域貢献活動)				



自分を語れる人を目指して

～ 広陵中学校 コミュニティ・スクール ～

広陵中学校がめざす生徒像「自分を語れる人になる」を柱に、コミュニティ・スクールの活動でも、「自分の言葉で語れる・自分の心と語れる・自分の姿で語れる」生徒を育むために、たくさんの皆さんにご協力いただきました。

2・3年生の総合的な学習の時間（縦割講座別学習）「カリヨンタイム」では、地域の方を講師に招き、クラスや学年の枠を超えて互いの思いや考えを伝え合う活動を行なっています。1年生の総合的な学習の時間「陵風タイム」は、学級別にテーマを決め、特色ある地域学習を展開しました。

昨年度までの反省から、一人ひとりがより**探究的に学ぶ**ために学習展開を見直し、「**地域のためにもなろう!**」を合言葉に、積極的に地域に出て活動したり、自分たちの活動を発信したりしました。



講師の皆さんと教職員合同キャリア教育研修会



企業の夏祭りに参加（和太鼓講座）



保育園で演奏披露（ハンドベル講座）

カリヨンタイムは、二・三年生対象に全十七講座で行われました



プログラミングとは(プログラミング講座)



市のイベントで発表(地域の歴史講座)



文化祭で堂々演奏（大正琴講座）

「箏」「生け花」「短歌」「ダンススポーツ」「商品開発」「和菓子」「農業交流」「地域の歴史」
「トールペインティング」「室内レク」「和太鼓」「福祉・ボランティア」「ハンドベル」
「プログラミング」「将棋と人生」「違和感の育て方」「大正琴」 全17講座



ぶどうの皮の染料で染め物づくり

一年生「学級別陵風タイム」



「服のチカラプロジェクト」仕分け中

☆その他にも、地域の方との交流や支援をいただきました。ありがとうございました。



企業見学(2年)



地域ボランティアのみさんの紹介式



地域貢献活動(生徒会)



読み聞かせボランティア



学連協会長さんによる
キャリア教育講演会



グループホームより雑巾寄贈

学校運営協議会



学校運営協議会では、「コミュニティ・スクール10年目に向けた課題」について活発に意見交換がなされました。7月の校区合同学校運営協議会(合同CS研修会)では、校区内の危険箇所や見どころなどについて情報交換しました。活動の中で、地域の皆様が、広陵中の生徒のことを日々温かく見守ってくださっていることをあらためてありがたく感じました。

【成果と課題・来年度の方向】

カリヨンタイムの『将棋と人生』講座で学習した生徒は、講師の教訓話を聞き、「物事に対する姿勢や愛が、講師の方から強く伝わってきたので、今後の人生でもその意識を忘れないようにしたい。」と、「自分を語る」姿につながる学びがありました。また、『室内レク』講座の生徒は、「実際に現場に行って、地域の方が疲れず楽しめるようなレクができた。地域の人とお互いが楽しめるような関わりができた。」と振り返りました。まさに、「地域のためにも」を具現し、喜びを実感することができました。来年度も引き続きカリヨンタイムに限らず、あらゆる地域学習で、主体的に深く探究する学びが展開できるよう準備を進めます。



自分を語れる人を目指して

～ 広陵中学校 コミュニティ・スクール ～

本校が目指す生徒像は「自分を語れる人になる」です。コミュニティ・スクールの活動でも、「自分の言葉で語れる・自分の心と語れる・自分の姿で語れる生徒」になることを目指してきました。特に2・3年生の総合的な学習「カリヨンタイム」では、地域の方を講師に招き、クラスの枠を超えて互いの思いや考えを伝え合う活動をしてきました。学習の成果を陵風祭（文化祭）で自信をもって発表する姿がありました。



カリヨンタイムは、二・三年生対象に全十七講座で行われました



「箏」「生け花」「短歌」「ダンススポーツ」
「商品開発」「和菓子」「農業交流」
「トールペインティング」「室内レク」
「地域の祭り・商業（和太鼓）」「地域の歴史」
「ゴスペル」「福祉・ボランティア」
「ハンドベル」「プログラミング」「将棋」
「目指せ弁論大会」

全17講座

その他にも、地域の方との交流や支援をいただきました。ありがとうございました。



地域ボランティアのみなさんの紹介式



郷原コミュニティサービスへの参加



1年生のぶどう栽培(小学生と交流)



読み聞かせボランティア



えごまの収穫



広丘地区文化祭への参加



絆の庭の整備



ふれあいセンター広丘での「華」演奏



「グループホームこまぐさ」さんから
雑巾をいただきました

学校運営協議会



学校運営協議会では、「子どもたちのために地域と学校で連携してできること」について活発に意見交換がなされました。7月の校区合同学校運営協議会では、塩尻市の拡大地図を見ながら、校区内の危険箇所や見どころなどについて情報交換しました。塩尻市外在住の教職員は、校区内の様子について初めて知ることも多く、有意義な研修会となりました。また、地域の皆様が、広陵中の生徒のことを日々温かく見守ってくださっていることをあらためてありがたく感じました。今後も地域の皆様との関わりを大切にしていきたいと思えます。

【成果と課題・来年度の構想】

カリヨンタイムの「地域の歴史講座」で学習した生徒は、「自分が住んでいる地域の歴史について初めて知ることができてうれしかったです。また、歴史を学ぶことでこの地域の30年後についても考えることができました。この講座での学習を通して、歴史を学ぶことの大切さを感じました」と学習カードに記入し、達成感を味わうことができました。このようにカリヨンタイムの各講座では、生徒たちが「もっと知りたい」「もっと上手になりたい」「もっとうまく作りたい」など、自らの課題を追究しようとする姿をたくさん見ることができました。学校だけでは整えられない「ひと・もの・こと」の環境の中で学習することができるので、めざす姿である「自分を語る」という視点をさらに大切にしながら活動していきたいと思えます。

このようにカリヨンタイムは生徒の貴重な学習の場となっていますが、スタートから7年が経過し、やや形骸化している部分もあります。さらに「課題解決を目指した追究的な学び」となるように、学習展開の構想を見直していきたいと思えます。



自分を語れる人を目指して

～ 広陵中学校 コミュニティ・スクール ～

本校が目指す生徒像は「自分を語れる人になる」です。コミュニティ・スクールの活動でも、「自分の言葉で語れる・自分の心と語れる・自分の姿で語れる生徒」になることを目指してきました。特に2・3年生の総合的な学習「カリヨンタイム」では、地域の方を講師に招き、クラスの枠を超えて互いの思いや考えを伝え合う活動をしてきました。学習の成果を陵風祭（文化祭）で自信をもって発表する姿がありました。



カリヨンタイムは、二・三年生対象に全十七講座で行われました。



「箏」「生け花」「短歌」「ダンススポーツ」
「煎茶道」「和菓子」「農業交流」
「トールペインティング」「室内レク」
「地域の祭り・商業（和太鼓）」「地域の歴史」
「ゴスペル」「福祉・ボランティア」
「ハンドベル」「プログラミング」「将棋」
「目指せ弁論大会」

全17講座

その他にも、地域の方との交流や支援をいただきました。ありがとうございました。



地域ボランティアのみなさんの紹介式



Connect with local 地域貢献活動



1年生のぶどう栽培



読み聞かせ支援



エゴマ栽培



信越ポリマーさんで梅の収穫



絆の庭の整備



文化祭前に届いた紅白のかぼちゃとりんご



学校運営協議会



学校運営協議会では、「子どもたちのために地域と学校で連携してできること」について活発に意見交換がなされました。7月の校区合同学校運営協議会では、拡大地図を用いて、校区内の「危険箇所マップ」と「お宝マップ」を作成しました。子どもの目線と地域住民の目線でマップを作成することができました。

【成果と課題】

カリヨントイムの「ハンドベル講座」の生徒の1人は、「一人一人の音が大切でミスができないという緊張感があるけれど、曲を最後まで通せたときはものすごくうれしかったです。仲間と協力してやり遂げることの大切さを感じました。」と学習カードに記入し、達成感を味わうことができました。このようにカリヨントイムの各講座では、生徒たちが「もっと知りたい」「もっと上手になりたい」「もっとうまく作りたい」など、自らの課題を追究しようとする姿をたくさん見ることができました。学校だけでは整えられない「ひと・もの・こと」の環境の中で学習することができるので、めざす姿である「自分を語る」という視点をさらに大切にしながら活動していきたいと思えます。

【来年度の方角】

カリヨントイムは、回数・内容ともほぼコロナ禍前と同様の活動を行うことができましたが、授業参観や文化祭の参観には制限を設けさせていただきました。来年度は学校公開を通して生徒たちの生の姿からご意見をいただいたり、生徒と直接関わる機会を増やしたりしていきたいと思えます。



コロナ禍を乗り越え

自分を語れる人を目指して

～ 広陵中学校 コミュニティ・スクール ～

コロナ禍により、昨年度はコミュニティ・スクールの活動の幾つかが制限されたり、中止になったりしました。しかし、本年度は感染対策をしながら、中核活動であるカリオンタイム（地域の方を講師にお迎えしての講座別体験学習）等の活動を行うことができました。

本校が目指す生徒像は「自分を語れる人になる」です。コミュニティ・スクールの活動を通して「自分の言葉で、自分の心と、自分の姿で語れる生徒」になることを目指して活動してきました。



カリオンタイムは、二・三年生対象に全十七講座で行われました



「箏」「生け花」「地域の歴史」「短歌」「前茶道」「和菓子」「トールペインティング」
「ダンススポーツ」「地域の祭り・商業」「室内レク」「ゴスペル」「福祉・ボランティア」
「農業交流」「ハンドベル」「プログラミング」「将棋」「目指せ弁論大会」

その他にも、地域の方との交流や支援をいただきました。ありがとうございました。



絆の庭の整備



宅食サービスの年寄りとの手紙交流



1年生のぶどう栽培



読み聞かせ支援



あいさつ運動



見守り活動



農業支援



信越ポリマーさんで梅の収穫



職員コンプライアンス研修



環境整備支援



茶道指導



新聞提供ボランティア



地域貢献活動



松ぼっくりツリー贈呈



学校運営協議会

【成果と課題】

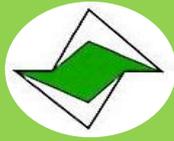
室内レク講座で学んだある生徒は、「人と関わる時には、できるだけ口角を上げて明るい表情をつくること、そして、ただ黙って聞いているだけでなく自分の考えを思い切って口に出すことを学びました。苦手なことで挑戦していけば楽しくなることがわかったので日常生活に活かしていきたいです。また、どんなに大変で顔が暗くなる時でも、口角を上げていきたいです。」と講座を振り返っています。通常の授業では学ぶ機会があまりないことをカリオンタイムで身に付けた姿だと感じます。「自分の言葉で、自分の心と、自分の姿で語れる生徒」の姿であったと思います。

その他にも、地域の皆さんに支えていただき、また学校でも地域貢献活動が昨年度よりはできました。地域と共にある学校づくりが一步進んだのではないかと思います。

一方、地域の方に関わっていく学習について、そのねらいを明確にし、生徒が課題を持って、より主体的に関わるような学び方の改善が必要だと思われま。

【来年度の方角】

コロナ禍は続くと思われまますが、本年度同様、感染対策をしながらできるだけ地域とのつながりの中で学び（ねらい→課題→追究→振り返り→新たな課題）ができるようにしていきたいと考えています。



コロナ禍の中

地域と共にある学校を目指して

～ 広陵中学校 コミュニティ・スクール ～

ごみ拾い登校表彰



エコキャップの回収



広陵中学校の伝統として続けてきた「ごみ拾い登校」が、塩尻市衛生協議会連合会様から感謝状を、株式会社アイネット様より「しおじりあさひ環境大賞」優秀賞をいただきました。長年の地道な活動を評価していただきました。ところが、本年度はコロナ禍により、ごみ拾い登校ができなくなりました。

そこで、生徒会のボランティア委員会が中心となりエコキャップの回収を始めました。回収したキャップは、予防接種のワクチンとなり世界の子供達に送られます。この活動を知った地域の方も協力してくださるようになり、これまでにたくさんのエコキャップを集めることができました。

ぶどう作りについて 臼井さんより



粒めき作業



広陵中学校には、学校のぶどう園があります。毎年、1年生が、地域のぶどう農家である臼井さんに教えていただきながら栽培活動に取り組んでいます。本年度は、コロナ禍により、なかなか活動しにくい状況ではありましたが、臼井さんご指導の下、剪定したり粒抜きしたりしました。そして、9月にはたくさんのぶどうを収穫しました。例年、収穫したぶどうは、陵風祭を見に来られた保護者や地域の方、小学校6年生にお配りしていますが、本年度は、それができず残念ではありましたが、塩尻市が誇るぶどう栽培を学ぶ貴重な機会となりました。



絆の庭の整備



感謝の野点



読み聞かせ支援



あいさつ運動



エゴマの栽培活動



信越ホリマーさんで梅の収穫



見守り活動



日本語教室



茶道指導



七夕笹の提供



Connect with Local



松ぼっくりツリー贈呈

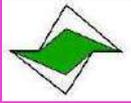


かぼちゃどったどー

9月のある日、校舎西の学校園には、1年生が育てたぶどうの粒が雨露で美しく輝いていました。東側に目を転じると校舎の向こう側に美しい虹が輝いていました。本年度は、変えなければいけないこと、変えざるをえないことが続きました。しかし、自然の美しさはいつもと変わりません。

他にも、いつもと変わらないものがあります。それは地域の皆さんの学校に寄せる思いです。例年通りの活動はできませんでしたが、振り返ると、たくさんの方に教育活動を支援いただきました。生徒達は体験を通して、探求することの楽しさ、人の役に立ち喜んでもらうことの大切さを学びました。

広陵中学校は、これからも「地域と共にある学校」を目指していきたいと思ひます。



地域とつながる「陵風タイム」



みどりの郷で折り紙やあやとりの交流活動

できました。」と活動を振り返っています。携わっていただいた講師の方からも「生徒の学ぼうとする姿勢に、私も多く学ばせていただきました。」と嬉しい一言をいただいています。

総合的な学習の時間「陵風タイム」では、地域の方々に講師を依頼して学習を進めてきました。今年度も学んだことを地域に発信したり、地域の方々と交流したりする活動に取り組む講座が増え、ますます充実した活動になってきています。みどりの郷を訪問して高齢者の方と交流した生徒は「人を喜ばせてあげること、それは自分も心が温かくなることだと感じました。貴重な体験が



自作ゲームのブースを開いて活動した玄蕃祭

園児との交流を経験した生徒は、「保育園の先生は注意するときも優しく丁寧に話しかけていて、自分もそんな風になりたいと思いました。小さい子と関わる時は、笑顔で優しく話をすれば心を開いてくれます。小さい子に対してだけでなく、笑顔で相手の目を見てコミュニケーションをとれるようにしたいです。」と実体験を通して大きな学びをしており、「生きる力」が育まれていることを感じます。



広丘南保育園でかわいい園児達と交流



整備して頂いた開校記念樹「しだれ栗」を「栗ぜんざいに」



伝統のぶどう栽培 収穫作業

広がりを、深める地域との交流 広陵中学校



毎週金曜日に行われているゴミ拾い登校

夏休みに行われている広丘夏祭りのボランティアには、昨年度を大幅に上回る30名以上の生徒が参加させて頂きました。ぶどうの郷ロードレース大会やふれあいセンター広丘つくし祭りのお手伝いもさせて頂きました。高出ふれあい祭りに参加した生徒からは、「自分たちも楽しかったし、地域の皆さんの笑顔がたくさん見ることができて良かった。」「小さい頃に自分が参加していたお祭りのお手伝いができて良かった。」という声が聞かれました。例年同様、文化部の生徒たちはたくさんの地区行事に参加させて頂きました。

地域の方との関わりに『広がり』が見られます。さらに関係を『深める』ことができたかと考えています。

カリヨンタイム等の時間に地域の方と関わる機会が増えたためか、昨年度から生徒会活動等様々な場面で「地域の役に立てるようにしたい。」という言葉が聞かれるようになってきました。本年度は生徒会が今まで行われてきた「ゴミ拾い登校」に加え、「Connect with Local 計画」と題した地域貢献活動を計画実施し、日頃からお世話になっている地域に出て落ち葉掃き活動等が行われました。



中央スポーツ公園で落ち葉集めをする生徒



広丘夏祭りにボランティア参加



高出ふれあい祭りにボランティア参加

突然のお手紙、失礼いたします。生徒さんの素晴らしい姿に感動し、筆をとった次第です。私は毎日健康増進のため、ウォーキングをしています。生徒さんを見ていますと、ゴミを拾いながら登校する姿があり感心です。山々の景色を見ながらのウォーキングでは気づきにくいですが、足下に目を落とすと意外とゴミが捨てられている現実があります。住民の私が見落としているゴミを拾いながら登校してくれている生徒さんがいる。これは地域の宝であります。綺麗な心を持った生徒さんの姿に感銘を受け、私もゴミ拾いウォーキングをしています。どうかどうかこの素敵な心をずっと持ち続け、勉学に励んでください。そして、ありがとう。

地域の方から頂いた匿名のお手紙

広陵中学校 H30 コミュニティ・スクールのあゆみ

「過去から学び、新たな次代へ」

～カリヨンがつなぐ学校と地域の絆～



地域と創る
創立 30 周年
記念事業



2月 堅石音楽祭
校歌合唱

「本格的な合唱曲になっている校歌は珍しく、本校が誇れるものの一つ。地域の方々と一緒に歌い上げたい。」という願いの下、1年を通じて地域の皆様との歌声交流活動を行ってきました。式典当日も大勢の皆さんにご来校いただき、皆で歌声を合わせ、心を合わせた校歌大合唱が体育館いっぱいに響き渡る中、感動のフィナーレを迎えました。



5月～地域の方をお招きして校歌練習



6月 高出リレー音楽祭で地域の方と一緒に校歌合唱

9月 記念式典
学校・地域の関係者が一堂に集い、心を合わせた校歌大合唱



年間を通して記念事業を進めていくという基本的なコンセプトの下、「先輩のお話の会」を企画・実施してきました。身近な先輩の経験にもとづく貴重なお話はどれも生徒たちの心に響くものでした。将来に向けての力強い道標になることと思います。



7月 NPO 法人「わをん」代表山田勇先輩をお招きして3学年お話の会

30周年記念実行委員長でもある学校運営協議会の薄田会長さんは「パイプ椅子搬入などで生徒のみなさんと共同作業をしたり、校歌大合唱をしたりすることなどで地域と学校の一体感を感じることができました。歌の活動も30周年記念式典で終わりではなく、今後も地域と学校と一緒に活動できる機会を設けていけるといいと思います。」とお話してくださいました。

この記念事業を30年の感謝のみで終わらせるのではなく、地域と共に歩む学校づくりの良い契機にしたいと思っています。



記念品の搬入作業の様子

9月の記念式典で元サッカー選手小松憲太先輩をお招きしてトークショー



地域に学び、地域と関わる「陵風タイム」



広丘西保育園で園児の皆さんとおやつの時間

保護者の感想より

体験型学習によって、子の社会観や職業観が養われていることを実感しています。また、地域の大人と接することで、大人を敬う心や地域を大切にすることが高まっていると思います。

本校では総合的な学習の時間を「陵風タイム」と名づけ、昨年度から新たな実践をスタートさせました。2・3学年における講座型学習「カリオンタイム」も2年目を迎えました。地域の皆様から知識や技能を学び、「もっと知りたい。」「次はこうしたい。」といった気持ちを持ち、仲間と議論したり、豊かな表現力を身につけたりしながら、主体的に学ぶ姿勢を高めることができきています。

また、今年は、学んだことを地域に様々な形で発信したり、地域の方と交流したりする活動に取り組む講座が増えてきました。



トールペイントの作品を堅石文化祭で展示発表



桔梗荘の皆さんと手遊び歌で交流



みどりの郷で折り紙やゲームなど交流会

講座担当の先生より

カリオンタイム「室内レク」講座では、今年度初めて桔梗荘への訪問も行いました。講師の先生に教えていただいた数々のレクレーションの中から、自分たちが交流会で高齢者の方々と一緒にやりたいものを選び、プログラムを組んで当日を迎えました。当日は、ご高齢の方と同じ目線で、分からないことには手取り足取り教えてあげるなど、普段の学校生活では見られない生徒の姿が見られました。双方が笑顔になれる活動ができました。



手作りのぶどうを小学校6年生にプレゼント

【成果・課題・来年度に向けて】

- CSとしての30周年記念事業を進めることで、地域の皆さんと共に活動する良さを実感したり、感動を共有したりすることができた。
- 地域の方と関わる機会が増えたためか、生徒会活動など様々な場面で、生徒から「地域貢献」という言葉が聞かれるようになってきた。
- ▲1年生の「陵風の時間」における地域と関わる学習の充実がなかなか難しい。
- 学校運営協議会や地域教育協議会で話し合いながら、生徒が地域の皆さんに発信したり、地域の方と交流したりする活動に、より積極的に取り組むことができるようにさらに働きかけていきたい。生徒の意識の中にある「地域貢献」をどう具体化できるかについて考えていきたい。



地域に生きる、未来に生きる 広陵中コミュニティ・スクール

夢を持ち目標に向かう子



熟議

人とつながりを大切にする子

学校運営協議会

学校運営協議会において、「広陵中に通う地域の子もたちがどのように育てほしいのか。」互いの願いを共有しました。そして協議会の皆さんで願いを具現化するためにできること、できそうなことを話し合いました。

広陵中校歌“カリヨンが鳴る”が大きな道標となっています。



薄田会長より

豊かな自然・風土を賛歌し、郷土への愛情と生徒たちの成長を祈り、更に世界観への誘いなど、CSの源流があります。カリヨンの響きが学社連携を応援しています。

地域教育協議会



学習支援



歯科大生による 放課後学習支援

今年「カリヨンタイム」が始まり、思った以上に地域ボランティアと生徒たちとの交流が広がった年



松本会長より

だったと思います。来年は、この活動への支援を続けながら地域に生きる人材を育てていきたいと思っています。

施設環境支援



紅葉美しい絆の庭

本年度は、学校支援ボランティアを大幅に増員することができ、物的環境、人的環境ともに昨年度よりさらに整えられた一年となりました。放課後学習では、松本歯科大学の学生さんたちに学習を見ていただいてきました。また、従来あった「部活動運営委員会」を「スポーツ文化活動運営委員会」と名称変更するとともに、CSの部活動・課外活動支援部の活動の一環として位置づけることもできました。

キャリア教育支援

伝統のぶどう栽培



読書活動支援



本の修理作業の様子

部活動・課外活動支援



お手前の稽古

直接生徒たちと関わる機会は少ないのですが、環境支援部の皆様のご尽力にも大変感謝しています。庭園などの環境整備が、広陵中が落ち着いた雰囲気のある学校になっている要因の一つであることは間違いありません。

今年度より
スタートした学習

生け花講座



箏講座



地域に学び
地域とつながる
カリヨンタイム



小さい子に触れる講座

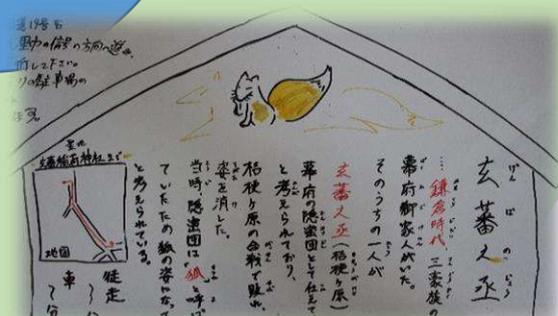


和菓子作り講座

総合的な学習の時間



地域の祭り講座



玄蕃の丞の看板

今年度から新しく始まった2, 3年生の講座型地域学習「カリヨンタイム」。生徒たちは瞳を輝かせながら、様々なジャンルの18講座の中から自分で選んだ講座の学習に取り組んでいます。この学習の最も魅力的な部分は、地域の皆様から知識や技能を学ぶところにあります。1年生も地域の方に教えて頂きながらぶどう栽培等の地域学習に取り組んでいます。地域の方々と触れ合いながら学習することを通して、通常の学校生活では得られない学びや体験をしています。こんな活動から主体的に学ぶ姿勢や豊かな表現力が育つことを期待しています。

とっておきの話
狐になつた 玄蕃の丞
今に残る赤い鳥居

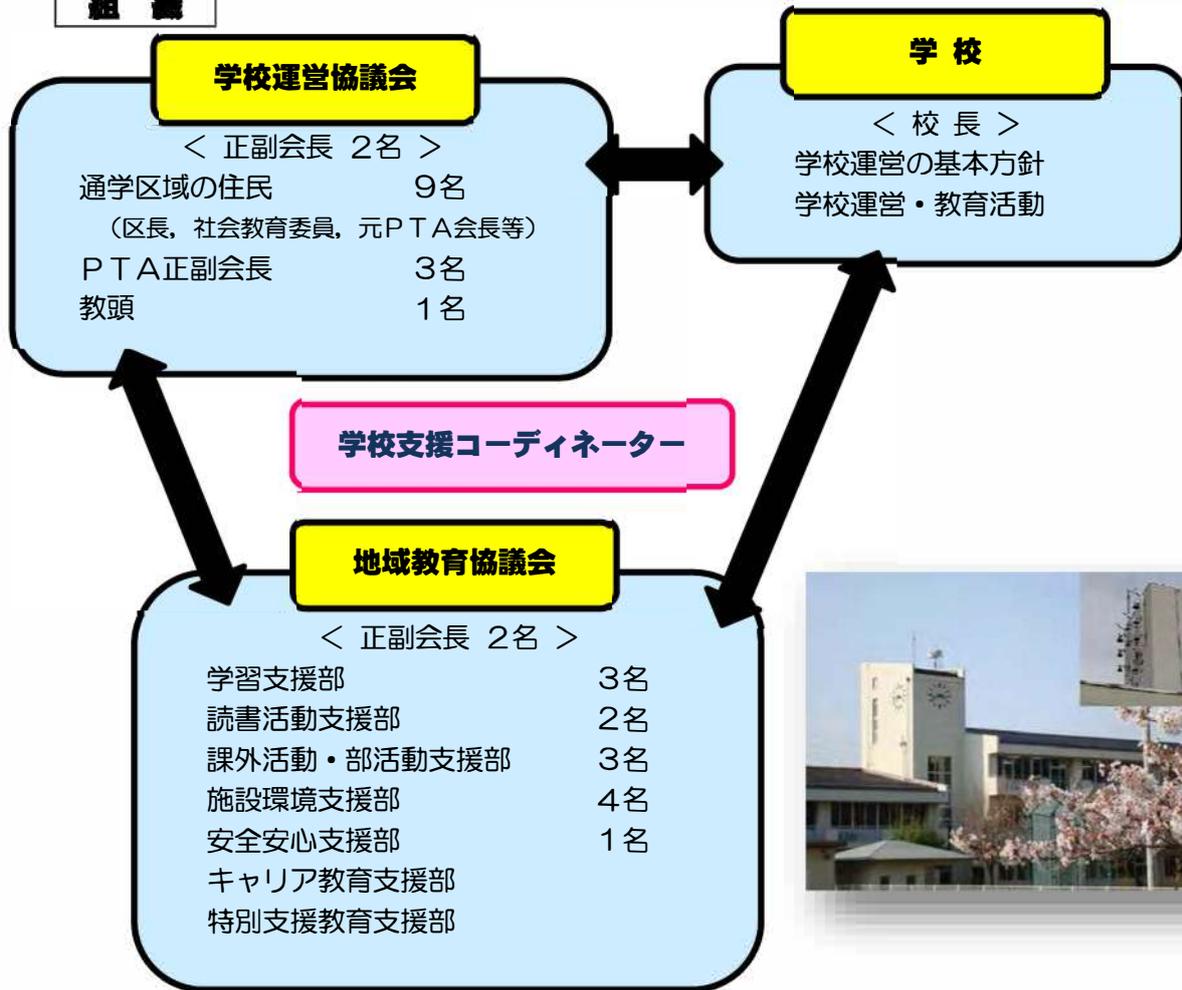
「郷原の歴史」講座では、地域に伝わる民話を手がかりに地域の方と史跡めぐりをし、得た情報を整理して、玄蕃の丞の看板(上の写真)にまとめました。活動中、生徒と地域の方が一緒に笑い合っている場面がよくありました。地域を担う人々が世代を越えて同じ空間に集う意義が感じられる一場面でした。

○成果・▲課題・来年度へ向けて

- 「総合的な学習の時間」を見直したことにより、生徒たちが地域の方と直接触れあう機会がたいへん増えた。生徒たちは地域の良さや地域の方々との触れあいの大切さを感じることができた。また、地域の方に生徒たちの様子を知っていただくこともできた。
- ▲学校運営協議会で話し合われた「育てたい生徒像」や理念を共有したり、地域講師の意見を反映させたりしながら、もっと地域の方々と職員、生徒とのコミュニケーションの機会を増やしていきたい。地域に役立つ活動や貢献できる体験をもっと意図的に仕組んでいくことで、生徒の自己有用感を育てていきたい。

地域とのつながりを広げる広陵中コミュニティ・スクール

組織



具体的な活動

学習支援



読書活動支援

◆箏の授業の支援◆

- ・1年生の音楽の授業に、箏（こと）の単元があります。学校に15面の箏があるので、1面に2～3人の生徒を割り振って練習しています。その際、教師1名では初めて箏に触れる生徒の指導は難しいので、師範であるボランティアの方にお手伝いいただいています。

◆日本語の学習が必要な生徒の支援◆

- ・教科学習や進学に向けて、日本語をより習得させていく必要のある生徒に、毎週1～2時間の日本語指導をしていただいています。年間を通じた活動です。

◆読書旬間での読み聞かせ◆

- ・年2回行われる読書旬間の初日に、読み聞かせを行っています。各学級に1名ずつ入っていた



だき、持参した本を読んでいただきます。どの学級でも生徒は真剣に聴き入っています。

◆図書館業務の支援◆

- ・本の修理や本棚の整理など、様々な図書館業務を月に1～2回程度支援していただいています。学校司書1名では手が回らないことも多く、整った図書館環境づくりに協力していただいています。

施設環境支援



◆ぶどうの栽培指導・ぶどう園の管理◆

- ・地域の方からお借りしているぶどう園で、生徒会活動としてぶどうを栽培しています。担当委員会の生徒に剪定や袋かけの指導をしていただいたり、生徒ではできない消毒や下草刈りなどの管理をしていただいたりしています。



◆庭の整備◆

- ・昇降口前の庭を長年整備していただいていたのですが、今年度、校門脇の一角を整地し直し、石碑をイチイの木で囲んだり、生徒が座って休憩できるように石を置いていただいたりしました。学校の顔として誇ることができる庭にさせていただきました。

地域と関わる活動

◆地域の文化祭での点前披露◆

- ・家庭生活部の茶道班が堅石文化祭で点前を披露しました。ボランティアの先生方に指導していただいた作法を実践する貴重な場となりました。学校の文化祭でも披露しています。



◆総合的な学習の時間での地域貢献学習◆

- ・3年生が5つの講座に分かれて「地域貢献学習」を行いました。ペットボトルのキャップを回収するポスターを商店等に貼って協力していただいたり、玄蕃まつりの運営の手伝いや清掃等に参加したりしました。地域の方々と直接触れ合いながら学ぶことができました。



成果と課題

玄蕃まつりでのアンケート調査

花の贈呈

○地域の方々と直接触れ合うことにより、通常はできないことを学んだり、コミュニケーションを深めたりすることができた。
 ▲活動内容を発信していくことや、学校支援ボランティアを充実させて支援部の活動を組織化することが課題である。

《特別寄稿》コミュニティ・スクールの10年を振り返る



桔梗小学校 学校運営協議会長 小野 伸二

桔梗小学校はCSを通じ育てたい子どもの姿として「人とのつながり」を目指し動き始め、学校と地域・保護者の皆様が協働し取り組み早10年目を迎えました。代表的な取組は、職業や仕事に興味や関心を広げる「キッズお仕事チャレンジ」や「チャレンジクラブ」です。

数多くの皆様が「子どもの未来を地域で育む」の理念のもと、CS活動を通じて人と人との繋がりが生まれ、子どもたちを中心に安心や喜びを感じ、時として哀しみを癒し一緒に楽しんで活動しております。

桔梗小学校はその校区が新興住宅に位置し、伝統も浅い比較的新しい地域にありますが、この地域にしかできない創意工夫をしたCS活動をより一層発展・進化できれば幸いです。

文末になりますが、今日まで桔梗小学校のCSにお力添えいただきました地域の皆様、学校関係者の皆様、PTAの皆様に感謝とより一層のご支援・ご協力をお願いします。

桔梗小学校 地域教育協議会長 横山 朝征



平成の終わりから学校に関わり始めて9年目になりました。はじめは何をすべきなのかよくわからないながらやっていたので、周りの方のアイデアの実現をお手伝いする関わり方をしていました。そうして関わるうちに「なんのために活動をするのか」を考えるようになりました。例えば「コロナで入場制限がかかってしまったから、来られない人のために運動会をライブ中継する」といったことです。「子どもたちのために」というのが大きな目的なんですが、具体的な課題に対して何ができるかを考え実行するのが大切なのかなと感じています。「できる人ができる事をできる時に」の精神で、活動を楽しみつつ学校に貢献していければいいなと思っています。



広丘小学校 学校運営協議会長 三沢 昌樹

地域と学校を繋ぎ、お互い寄り添う関係を作りたい、そんな想いで活動しています。地域や街は人によって成り立っていく。

歴史と伝統を守り、そして広丘の街の魅力を伝えていく事で、子ども達が「住んで良かった」「これからも住み続けたい」という想いになってくれる事、それが街の活気と繁栄を維持していく上で大切な事だと思っています。

地域の大人が仕事をしている姿や、子ども達を想う気持ちを届けたい。

地元企業との繋がり、そこで働く大人との関わり、広丘だから出来る事を広丘らしさで考え続けていきたい。

広丘小学校 地域教育協議会長 太田 秀保



“ひろおか奨善塾”の今後を憂う

平成9年から学校開放講座として始まった「ひろおか奨善塾」、コロナ禍での3年間は止む無く中止としましたが、CS活動の大事な柱となっています。平成10年代は学校の先生方が講師でしたが、20年代になって地域の方を講師に招き、体験を通して学びを深める場として発展してきました。24年度からは学校、PTA教養部と広丘公民館の三者が立案し、講座を開いてきました。現在、学校運営協議会も一役を担っています。今年も開講しましたが、広丘公民館の共催がなくなり、地域とのつながりが希薄になってしまいました。30年近く脈々と続いてきた**活動の今後を考える大事な時、皆の知恵と協力で乗り切ろう**と思います。



広陵中学校 学校運営協議会長 薄田 利秋

「ローマは一日にして成らず」との格言があります。同様に「コミスクも一日にして成らず」です。実践集を最初から繕えます。創立30周年記念事業では「カリヨンの響きとともに30年、過去から学び新たな次代へ」をコンセプトに掲げました。

校歌大合唱は圧巻で、その感動は今でも残っています。校歌カリヨンには時空を超えた命への愛、大地への慈しみ、見知らぬ世界への誘いなど、生徒たちがこれから社会、人生を拓く牽引力となるでしょう。近時、広陵中に新たな風が流れています。キャリア教育「生き方ダイアログ」、市長との意見交換会、3年生が地域での合唱発表交流会など生徒の主体的活動による地域の人との対話と学びが生まれています。次代を目指し楽しく歩み続けます。

広陵中学校 地域教育協議会長 松本 弘幸



コミスクが発足し10年が経ちました。思えば広丘地区公民館長を終え、広陵学区の初代コーディネーターの話があり辞令を受け、登校する直前の3月末脳梗塞になり入院となりました。辞職を申請したのですが、治癒してからの登校でよいですと言われ引受けてしまいました。きつかった1年でしたが、広陵学区3校の校長先生はじめ多くの先生方に助けられどうにか役目を果たすことが出来、後遺症も残らず退任できました。

その後も続けて広陵学区に関わることが出来、現在まで広陵中の地域教育協議会の会長を継続しています。学区3校を見回すと緑化環境にいささか問題ありの提案をしながら、自分が得た知識や技術を活かしやってみて、継続性を強く感じています。スマホやタブレットの活用は教育形態や生徒たちの受け止め方法が大きく変わっている一面だと感じています。



学校支援コーディネーター 唐澤 理恵

塩尻市がコミュニティ・スクールを導入しようとしていた当時、私は桔梗小でPTA活動をしていました。「市が何か新しいことを始めるらしいよ」という当時の会長のお話がきっかけで、PTAとしてこの活動に関わることになりました。

当時は、自分がコーディネーターを務めるとは夢にも思っていませんでしたが、いざ始めてみると、自分にはまだ知らない地域の世界があることを知り、コミュニティ・スクール活動の面白さに魅了されていきました。

その魅力の根源は、子ども達だけでなく、学校に関わる地域の皆さんがとても魅力的だったことです。桔梗・広丘・広陵、どの地域の大人も、まるで自分の子や孫のように子ども達を思い、サポートしてください。そんな素敵な大人たちに、子ども達や先生方をたくさん合わせたい。その一心で、これまで活動を続けてきました。

自分にできることは何か？と日々自問自答しながらではありますが、先生・地域・子ども達のつながりを支えていきたいと思っています。

● 参考「地域と学校とで協働して育てたい子どもの姿」〈2017（平成29）年度策定〉

〈塩尻東小〉

- 自他を大切にでき、思いやり溢れる子ども〈自尊感情と愛他心の育成〉
- 心身ともに健康で、元気で意欲的な子ども〈前向きな生き方・人間関係構築力の育成〉
- 主体的に学び、チャレンジする子ども〈課題発見力・解決力や行動する力の育成〉

〈塩尻西小〉

- 自他を大切にでき、思いやり溢れる子ども〈自尊感情と愛他心の育成〉
- 他とのつながりを大切にしながら自分を的確・適切に表現できる子ども〈人間関係構築力の育成・人権感覚の育成〉



- あきらめず、前向きに生きられる子ども〈成功体験・チャレンジ精神の育成〉

〈塩尻中〉

- 心身ともに健やかでたくましい子ども〈自尊感情の育成、タフに生き抜く力、社会力・人間力の育成〉
- 夢を持ち、夢の実現に向け努力する子ども〈自ら学ぶ力・学び続ける力の育成、キャリア教育推進〉
- 人とのつながりを大切に、様々な人と協働して活動ができる子ども〈チームワーク、協調性、協働性、社会力の育成〉
- 自ら考え、適切に判断し、行動できる・語れる子ども〈課題発見力、課題解決力、創造力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、自主性、自立心・自律心の育成〉

【塩尻中学校区において小中一貫した9年間で育てたい子どもの姿〈3本柱〉】

- 多様な人と協働しながら主体的に活動できる子どもの育成
- 心身ともに健やかで、自己実現に向け学び続ける子どもの育成
- ふるさと（地域）の過去と現在を学び、知り、誇りと愛着をもち、地域の未来を拓き・語れる子どもの育成

〈桔梗小〉

- 心身ともに健やかで明るい子ども〈自尊感情の育成、健康的に生きる力の育成〉
- 笑顔があふれ、心が優しい子ども〈前向きな生き方・人間関係構築力の育成〉
- 憧れを持ち、夢に向かう子ども〈より高い生き方を求め行動する力の育成〉

〈広丘小〉

- 挨拶等がしっかりでき、人とのつながりを大事にする子ども〈人間関係構築力の育成〉
- よく学び、体を鍛え、夢に向かい進む子ども〈学力向上・体力向上・キャリア教育推進〉
- 相手の気持ちが分かり、協調して活動ができる子ども〈愛他心・協調性・チームワーク〉

〈広陵中〉

- 心身ともに健やかでたくましい子ども〈自尊感情の育成、タフに生き抜く力、社会力・人間力の育成〉
- 夢を持ち、夢の実現に向け努力する子ども〈自ら学ぶ力・学び続ける力の育成、キャリア教育推進〉
- 人とのつながりを大切に、様々な人と協働して活動ができる子ども〈チームワーク、協調性、協働性、社会力の育成〉
- 自ら考え、適切に判断し、行動できる・語れる子ども〈課題発見力、課題解決力、創造力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、自主性・自立心、自律心の育成〉



【広陵中学校区において小中一貫した9年間で育てたい子どもの姿〈3本柱〉】

- 多様な人と協働して活動できる子どもの育成
- 様々な課題を解決しながら、自己実現に向けて学び続ける子どもの育成
- ふるさと（地域）の過去と現在を学び、知り、誇りと愛着をもち、地域の未来を拓き・語れる子どもの育成

〈片丘小〉

- 心身ともに健やかで明るい子ども〈自尊感情の育成、健康的に生きる力の育成〉
- 挨拶等がしっかりでき、人とのつながりを大切にする子ども〈人間関係構築力の育成〉
- 主体的に学びに向かう子ども〈課題発見・解決力、自学力の育成〉

〈吉田小〉

- 社会の基本的ルールやモラルが守れ、相手を思いやれる子ども〈社会力・人間力の育成〉
- 自分の将来を描き、それに向かい動く子ども〈学力向上・体力向上・キャリア教育推進〉
- 自他の気持ちを理解し、協調して活動ができる子ども〈自尊感情・愛他心・協調性の育成〉

〈丘中〉

- 心身ともに健やかでたくましい子ども
〈自尊感情の育成、自他を思いやる心、タフに生き抜く力、社会力・人間力の育成〉
- 夢を持ち、夢の実現に向け努力する子ども
〈自ら学ぶ力・学び続ける力の育成、キャリア教育推進〉
- 人とのつながりを大切にし、様々な人と協働して活動ができる子ども
〈チームワーク、協調性、協働性、社会力の育成〉
- 自ら考え、適切に判断し、行動できる・語れる子ども
〈課題発見力、課題解決力、創造力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、自主性・自立心、自律心の育成〉



【丘中学校区において小中一貫した9年間で育てたい子どもの姿〈3本柱〉】

- 心身ともに健やかで、多様な人と協働して活動する子どもの育成
- 自己実現に向け主体的に学び続ける子どもの育成
- ふるさと（地域）の過去と現在を学び、知り、誇りと愛着をもち、地域の未来を拓き・語れる子どもの育成

〈宗賀小〉

- 心身ともに健やかで元気な子ども〈自尊感情の育成、健康的に生きる力の育成〉
- 思いやりにあふれ、助け合える子ども〈愛他心・協調性・人間関係構築力の育成〉
- 主体的・自主的に学べる子ども〈課題発見・解決力の育成、自学力の育成〉

〈洗馬小〉

- 挨拶等がしっかりでき、人とのつながりを大切にする子ども
〈自尊感情や愛他心の育成、人権感覚の育成、人間関係構築力の育成〉
- 主体的・自主的に学び、夢に向かい進む子ども
〈課題発見・解決力の育成、自学力の育成、キャリア教育の充実〉
- 自分の考えを的確に適切に伝えながら、他と協調して活動ができる子ども
〈コミュニケーション力、愛他心、協調性、チームワーク〉



〈塩尻西部中〉

- 心身ともに健やかでたくましい子ども
〈自尊感情の育成、タフに生き抜く力、社会力・人間力の育成〉
- 夢を持ち、夢の実現に向け努力する子ども
〈自ら学ぶ力・学び続ける力の育成、キャリア教育推進〉
- 人とのつながりを大切にし、様々な人と協働して活動ができる子ども
〈チームワーク、協調性、協働性、社会力の育成〉
- 自ら考え、適切に判断し、行動できる・語れる子ども
〈課題発見力、課題解決力、創造力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、自主性・自立心、自律心の育成〉

【塩尻西部中学校区において小中一貫した9年間で育てたい子どもの姿〈3本柱〉】

- 心身ともに健やかで、多様な人と協働して活動する子どもの育成
- 自己実現に向け主体的に学び続ける子どもの育成
- ふるさと（地域）の過去と現在を学び、知り、誇りと愛着をもち、地域の未来を拓き・語れる子どもの育成

楡川中学校区〈楡川中・木曾楡川小〉⇒令和4年度より楡川小中学校（義務教育学校）

【楡川中学校区において小中一貫した9年間で育てたい子どもの姿〈3本柱〉】

- 温かい人間関係を築くことができる子どもの育成
- 心身ともにたくましく、自立し、未来を拓く子どもの育成
- ふるさと（地域）の過去と現在を学び、知り、誇りと愛着をもち、地域の未来を拓き・語る子どもの育成

【両小野中学校区〈両小野学園〉において保小中一貫した12年間で育てたい子どもの姿】
ふるさと「たのめの里」を知り、共に愛し、「たのめの里」に貢献できる子ども
～輝く「あいさつ」・響き合う「歌声」・深まる学び～

〈両小野小（辰野町塩尻市小学校組合立）〉

「たのめの里に生き、たのめの里の未来を切り拓く子どもの育成」

- 「たのめ科」の充実
 - ・地域を知り、地域の方から伝統を継承し学び、地域を愛する子の育成
- 保小中一貫のために
 - ・「保小一貫」：校内巡り、プール交流、給食の試食、児童会祭り招待
 - ・「小中一貫」：6年生の中学校登校〈1ヶ月間〉、地域美化活動
 - ・「保小中一貫」：学園音楽祭



〈両小野中（塩尻市辰野町中学校組合立）〉

「たのめの里に生き、たのめの里の未来を切り拓く子どもの育成」

- アントレプレナー学習、プリリアント学習を通し
 - *地域を知り、地域の活性化について考え、人々と関わることで故郷を大切に思い、さらに好きになる。
- 「夢プロジェクト生徒会」
 - *アントレプレナー学習で見いだされた課題を、全校の活動にしていく、地域貢献型の両小野中モデルの生徒会を構想していく。



〈北小野保育園（塩尻市立）〉

- よりよい環境のもとで、のびのび過ごし、発達に応じた活動の積み重ねを行える保育園
- 子どもの個性や特性を大切にし、もっている力を十分に発揮し生活できるよう一人ひとりに応じた支援ができる保育園
- たのめの里の歴史ある郷土の文化を大切にし、「太鼓活動」や「地域ボランティアの保育園参加」を通して、地域を知り地域を愛する心を育てる保育園



〈小野保育園（辰野町立）〉

- 安心して預けられる保育園
- 一人ひとりの子どもの適切な援助ができる保育園
- 保護者と共に子どもの成長を支援する保育園
- 地域ボランティアの協力のもと、地域を知り、地域を愛する心豊かな子どもの育成



塩尻市内の全小中学校に学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクール活動が開始された平成28年度、学校運営協議会の熟議の中で「地域と学校とで協働し、どのような子どもを育てていくのか、その具体的なイメージを地域と学校とで共有する必要がある。」という意見が多く出され、翌年度（平成29年度）第1回目学校運営協議会の熟議（グループワーク）を通し各校のものが策定され、また第2回目の中学校区内小中合同学校運営協議会では「小中の9年間を通し、地域学校協働体制・活動により育てたい子どもの姿（資質・能力）」が策定されました。これらの「姿（資質・能力）」は策定後10年を経過した現在でも各CS活動を推進・評価していく上の指標となっています。

塩尻市教育委員会の窓から



2025年度塩尻市コミュニティ・スクール実践集のテーマ

10年間の成果を感じ、10年先を見据える
～これまで積み上げたものを次の時代につなげよう～

塩尻市コミュニティ・スクール（以下「コミスク」）が始まって今年で10年目となりました。上記のようなテーマを掲げ、様々な話し合いの場で10年を振り返り、成果や課題を共有し、これから10年先を見据えてどんなことができそうか、話し合う機会がつけられました。

今年度の実践集は、これまでの10年の歩みを振り返ることができるように、学校ごとに10年間の取組をまとめてみました。教頭先生を中心にまとめていただいた取組の様子は、1年間の中では大きな変化を感じる事が少なくても、10年間を続けて見てみると、地道に、着実に歩んできたことによる大きな力を感じることができます。その時その時の子どもたちの成長や学び、関わる先生方、保護者や地域の皆さんの様々なつながりによってこれだけの大きな力になることを実感できると共に、これから先に関わる人がかわっても、地道に着実に取り組んでいくことが、10年先につながっていくことを実感しました。また、コミスクの中心になって関わっていただいている学校運営協議会や地域教育協議会の会長さん、学校支援コーディネーターさんからも特別寄稿として書いていただいています。関わる期間に長短はあっても、その中で直に感じた思いや願いは今後につながる大事なものが詰まっています。

これまで塩尻市のコミスクに温かく関わっていただいた多くの皆さんに感謝を申し上げますと共に、今後も「できることを、できる時に」関わる人が増え、様々な立場の大人が共に語り合いながら、楽しみながら一緒に創っていくことで、子どもたちの笑顔あふれる成長や、つながりのある元気な地域になっていくことを願っています。

1 進化するコミスク

第3回学校運営協議会は、各学校で今年度を振り返り、成果や課題を生かして来年度への準備を進める会議として、どの小委員会や協議会でも、学校の熱い思い、地域の受け止め、もっとこうしたらというアイデア等が出されていました。これからもう一步進化するために、形ややり方などを変えてみようという動きが様々なところで見られます。自分たちの学校に合った形で、より活動を広げたり、学びを深めたりしていけるように、また、学校の願いを理解してより強い協力体制で充実した活動にしていけるように、見直しできるところはしていきましょう。

動きのある例をいくつか挙げてみます。

学校運営協議会

- 学運協委員の皆さんが参加しやすい時間帯に行く（第2回は先生方が参加しやすい時間帯に）。時間を変えて開催してみる。
- 熟議のテーマをより具体的なもの、誰もが気軽に意見が言えるものにしていく。
- 話し合いの様子や内容を先生方、欠席の委員さん、地域の方に共有していく。
- 全4回の見通しをもって進め、次年度に生かせるようにしていく。
- 一体的な取組を行うために学運協と地教協を一つの組織にしていく。
- 一年間を通して取り組む目標（キャッチフレーズ）を考える。

地域教育協議会（地域学校協働本部）

- ・ボランティアの皆さんへの連絡方法の見直し（LINE スクールのお試し）。
- ・ボランティアの内容をより具体的に、できるだけ早めに伝えていく。
- ・保護者・PTA の皆さんにも内容を周知して、関わってもらえる人を増やす。
- ・関わっていただいた様子や成果をボランティア・保護者・PTA・地域の皆さん・先生方に周知できるようにする（CS フェスタやお礼の会の工夫）。
- ・一年間を通して取り組む目標（キャッチフレーズ）を考える。

今回の会議を通して、コミスクの取組の周知という点が、ポイントになってきていると感じました。まず、学校運営協議会の委員の皆さんにしっかり周知されているか、また周知されたことをそれぞれの立場で発信していただいているか。学校の先生方への周知はどうか。ボランティアの皆さん、地域の皆さんにどれだけ周知されているか。この点を今一度見直していきたいと考えています。

来年度から第6期（11・12年目）がスタートします。改めて、学校運営協議会委員の皆さんに役割や内容が分かるように、これまで続けている方にも確かめができるように「手引き」を作って配布する予定です。

2 11年目のスタートに当たって

来年度より、コミスクに関わる名称の変更と確認をお知らせします。

その1

- 支援から連携・協働、参画の取組みになってきている今、これからも更に協働の取組みが進められるよう、学校支援という言い方をやめます。

学校支援ボランティア → **CS ボランティア**

学校支援コーディネーター → **CS コーディネーター**

学校とボランティアの皆さんとの関係は対等、共に子どもたちのために取り組むパートナーです。そのために「CS ボランティア」という名前にしていきます。

「CS コーディネーター」は、コミスクの地域コーディネーターと地域学校協働活動推進員を合わせた役割です。今後も幅広く学校と地域をつなげていきます。

その2

- 活動に関わる大人が様々な立場の人になりつつあり、今後も更に様々な職種や立場の人々とつながっていく可能性があります。以下の名称は引き続き使用していきますが、国が発信している言葉と同じ内容であることを知っていただき、CS 活動の内容の充実に役立てていってください。

地域教育協議会（＝地域学校協働本部） **CS 活動（＝地域学校協働活動）**

地域学校協働活動とは、地域住民、学生、保護者、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えると共に、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

★塩尻市コミュニティ・スクールに関するお問い合わせは、下記までお願いします。

塩尻市教育委員会 学校教育課 教育企画係（地域連携コーディネーター）

〒399-0738 長野県塩尻市大門七番町4番3号

Tel (0263)52-0280 (代) 内線 3111 FAX (0263)52-4354